

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2023年8月10日(10.08.2023)



(10) 国際公開番号

WO 2023/149176 A1

(51) 国際特許分類:
G06Q 10/1053 (2023.01) G06Q 10/0639 (2023.01)

(21) 国際出願番号: PCT/JP2023/000990

(22) 国際出願日: 2023年1月16日(16.01.2023)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願 2022-016307 2022年2月4日(04.02.2022) JP
特願 2022-121312 2022年7月29日(29.07.2022) JP

(71) 出願人: 株式会社村田製作所
(MURATA MANUFACTURING CO., LTD.) [JP/
JP]; 〒6178555 京都府長岡京市東神足 1
丁目 1 0 番 1 号 Kyoto (JP).

(72) 発明者: 板谷 昌治 (ITAYA, Masaharu);
〒6178555 京都府長岡京市東神足 1 丁目 1 0
番 1 号 株式会社村田製作所内 Kyoto (JP). 松
井 和輝(MATSUI, Kazuki); 〒6178555 京都府
長岡京市東神足 1 丁目 1 0 番 1 号 株式会
社村田製作所内 Kyoto (JP). 森 悠介(MORI,

Yusuke); 〒6178555 京都府長岡京市東神足 1
丁目 1 0 番 1 号 株式会社村田製作所内 Kyoto
(JP). 丹羽 佑斗(NIWA, Yuuto); 〒6178555 京
都府長岡京市東神足 1 丁目 1 0 番 1 号 株
式会社村田製作所内 Kyoto (JP).

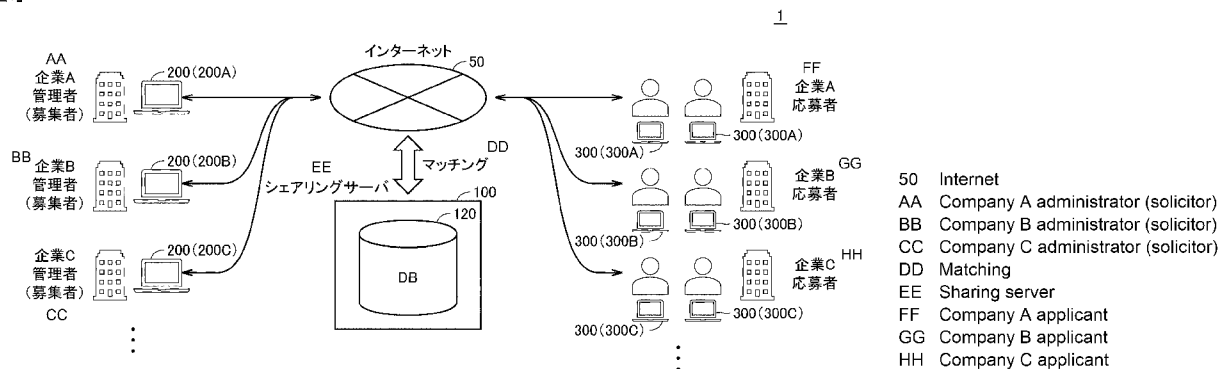
(74) 代理人: 弁理士法人深見特許事務所(FUKAMI
PATENT OFFICE, P.C.); 〒5300005 大阪府大
阪市北区中之島三丁目 2 番 4 号 中之島フェス
ティバルタワー・ウエスト Osaka (JP).

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保
護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ,
BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH,
CL, CN, CO, CR, CU, CV, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO,
DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT,
HN, HR, HU, ID, IL, IN, IQ, IR, IS, IT, JM, JO, JP,
KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK,
LR, LS, LU, LY, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX,
MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH,
PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG,

(54) Title: EVALUATION SYSTEM, EVALUATOR DEVICE, AND METHOD

(54) 発明の名称: 評価システム、評価者装置、および方法

[図1]



(57) Abstract: An evaluation system (1) for evaluating a contractor who has applied for a job comprises a first evaluator device (200) that is operated by an evaluator belonging to a first group, and a computing device (100) that communicates with the first evaluator device (200) and is capable of accessing a database (120). The first evaluator device (200) accepts input of evaluation pertaining to the contractor and transmits the accepted evaluation to the computing device (100). The computing device (100) registers first evaluation information based on the evaluation received from the first evaluator device (200) to the database (120). When a browsing request is received in first communication established using identification information by which it can be identified that a person belongs to the first group, the computing device (100) transmits the first evaluation information to the sender who transmitted the browsing request in the first communication.

SK, SL, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ,
UA, UG, US, UZ, VC, VN, WS, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, CV, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, ME, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

- 国際調査報告 (条約第21条(3))
-

(57) 要約: 業務に応募した受注者を評価する評価システム(1)であって、第1グループに所属する評価者によって操作される第1評価者装置(200)と、第1評価者装置(200)と通信し、データベース(120)にアクセス可能なコンピュータ装置(100)とを備え、第1評価者装置(200)は、受注者に対する評価の入力を受け付け、受け付けた評価をコンピュータ装置(100)へ送信し、コンピュータ装置(100)は、第1評価者装置(200)から受信した評価に基づいた第1評価情報を受注者別にデータベース(120)に登録し、コンピュータ装置(100)は、第1グループに所属する者であることを識別可能な識別情報により確立された第1通信において閲覧要求を受信した場合、第1通信において閲覧要求を送信した送信元へ、第1評価情報を送信する。

明 細 書

発明の名称： 評価システム、評価者装置、および方法

技術分野

[0001] 本開示は、業務に応募した受注者を評価する評価システム、評価者装置、および方法に関する。

背景技術

[0002] 従来より、企業などではクラウドソーシングが活用されている。一般に、クラウドソーシングとは、不特定多数の人の寄与を募り、必要とするサービス、アイデア、またはコンテンツを取得するプロセスをいう。クラウドソーシングにおいては、通常、業務の発注者によって、業務の受注者に対する評価報告が作成される。

[0003] 特許文献1には、派遣要員の派遣期間完了後に評価担当者が派遣要員のスキルの評価報告を入力装置から入力すると、その評価報告が、派遣情報サーバへ送信されることが記載されている。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：特開2001-350881号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] 評価報告は、業務の募集者が応募者を選択する際の判断基準として有用である。したがって、評価報告を多数の募集者で広く共有できることが望ましい。しかし、評価報告を共有する範囲を無制限に広げてしまうと、評価の内容が応募者本人に漏れてしまうことを心配するあまり、評価する者が適切な評価報告を作成しないおそれがある。その場合、評価報告の信頼性が低下する。

[0006] 本開示は、上記のような課題を解決するためになされたものであって、その目的は、評価者が受注者に対する適切な評価することを促進可能にするこ

とである。

課題を解決するための手段

- [0007] 本開示の第1の局面に係る評価システムは、業務に応募した受注者を評価する評価システムであって、第1グループに所属する1以上の評価者によって操作される第1評価者装置と、第1評価者装置と通信し、データベースにアクセス可能なコンピュータ装置とを備え、第1評価者装置は、受注者に対する評価の入力を受け付け、受け付けた評価をコンピュータ装置へ送信し、コンピュータ装置は、第1評価者装置から受信した評価に基づいた第1評価情報を受注者別にデータベースに登録し、コンピュータ装置は、第1グループに所属する者であることを識別可能な識別情報により確立された第1通信において閲覧要求を受信した場合、第1通信において閲覧要求を送信した送信元へ、第1評価情報を送信する。
- [0008] 本開示の第2の局面に係る評価者装置は、第1グループに所属する1以上の評価者によって操作される評価者装置であって、業務に応募した受注者に対する評価を入力する操作を受け付けるインターフェイスと、閲覧要求を受け付ける受付部と、ディスプレイと、インターフェイスによって受け付けられた評価と、受付部によって受け付けられた閲覧要求とを、データベースにアクセス可能なコンピュータ装置に送信するプロセッサとを備え、プロセッサは、閲覧要求があった場合、ディスプレイに、第1グループに所属する1以上の評価者による評価を表示する。
- [0009] 本開示の第3の局面に係る方法は、業務に応募した受注者を評価する方法であって、第1グループに所属する1以上の評価者によって操作される第1評価者装置と通信するステップと、第1評価者装置から、受注者に対する評価を受信するステップと、第1評価者装置から受信した評価に基づいた第1評価情報をデータベースに登録するステップと、第1グループに所属する者であることを識別可能な識別情報により確立された第1通信において閲覧要求を受信した場合、第1通信において閲覧要求を送信した送信元へ、第1評価情報を送信するステップとを含む。

発明の効果

[0010] 本開示によれば、評価者が受注者に対する適切な評価することを促進可能にすることができる。

図面の簡単な説明

[0011] [図1]マッチングシステムの概要を示すブロック図である。

[図2]シェアリングサーバ、募集者装置、および応募者装置の構成を示すブロック図である。

[図3]企業データベースの一例を示す図である。

[図4]会員データベースの一例を示す図である。

[図5]コミュニティデータベースの一例を示す図である。

[図6]募集案件データベースの一例を示す図である。

[図7]副業データベースの一例を示す図である。

[図8]評価入力データベースの一例を示す図である。

[図9]評価サマリデータベースの一例を示す図である。

[図10]シェアリングサーバ、募集者装置、および応募者装置の機能を説明するための図である。

[図11]シェアリングサーバ、募集者装置、および応募者装置の機能を説明するための図である。

[図12]シェアリングサーバ、募集者装置、および応募者装置の機能を説明するための図である。

[図13]募集案件を募集案件データベースに登録する手順を説明するための図である。

[図14]データベースの中から募集案件を検索する手順を説明するための図である。

[図15]副業の予定および実績をデータベースに登録する手順を説明するための図である。

[図16]応募者に対する評価をデータベースに登録する手順を説明するための図である。

[図17]応募者に対する評価および会員の検索結果をディスプレイに表示する手順を説明するための図である。

[図18]評価サマリデータベースの閲覧可能範囲を説明するための図である。

[図19]開示レベルに応じて開示範囲が設定される例を示す図である。

[図20]管理者（応募者の上司）が部下の副業状況を確認するときに管理者の応募者装置に表示される画面を示す図である。

[図21]変形例1に関わるシェアリングサーバ、募集者装置、および応募者装置の機能を説明するための図である。

[図22]変形例1に関わる会員データベースの一例を示す図である。

[図23]変形例1に関わる逆オファー会員検索処理の処理手順を示すフローチャートである。

[図24]変形例2に関わるシェアリングサーバ、募集者装置、および応募者装置の構成を示すブロック図である。

[図25]変形例2に関わる会員グループデータベースの一例を示す図である。

[図26]変形例2に関わる募集案件データベースの一例を示す図である。

[図27]変形例2に関わるシェアリングサーバ、募集者装置、および応募者装置の機能を説明するための図である。

[図28]変形例2に関わる募集案件を募集案件データベースに登録する手順を説明するための図である。

発明を実施するための形態

[0012] 以下、本開示の実施の形態について、図面を参照しながら詳細に説明する。なお、図中同一または相当部分には同一符号を付してその説明は繰り返さない。

[0013] [マッチングシステム1を提案する背景]

図1は、本実施の形態に関わるマッチングシステム1の概要を示すブロック図である。はじめに、本実施の形態においてマッチングシステム1を提案する背景を説明する。

[0014] マッチングシステム1は、たとえば、企業間のクラウドソーシングに活用

される。クラウドソーシングは、一般には、不特定多数の人の寄与を募り、必要とするサービス、アイデア、またはコンテンツを取得するプロセスである。

[0015] 人的リソースを有効に活用するため、副業を推進している企業も少なくない。企業間でクラウドソーシングを利用することによって、企業の従業員の能力を活用することができる。

[0016] しかし、企業間に一般的なクラウドソーシングの手法をそのまま適用した場合、以下のような問題が生じるおそれがある。

[0017] [秘密情報が漏洩する可能性]

一般的なクラウドソーシングの手法では、発注者側の企業と受注側の企業との関係が考慮されることがないため、クラウドソーシングを採用することに企業リスクおよび個人リスクが伴う。たとえば、従業員の副業を通じて、秘密情報がライバル関係にある企業に漏れてしまうおそれがある。従来のクラウドソーシングの手法では、従業員が競業他社の案件を副業として受注していないことを管理者が確認することができない。

[0018] [オーバーワークの可能性]

企業が従業員の副業を認めた場合、従業員の労働時間が過度に長くなるおそれがある。オーバーワークのリスクを解消するため、本業および副業を含めた残業時間の上限を企業が定めることも考えられる。しかし、従業員が自由に副業を受注できる限り、企業が従業員の副業時間を管理することは困難である。その結果、従業員がオーバーワークの状態になる可能性がある。

[0019] [副業の成果が正当に評価されない可能性]

従来、受注者に対する評価をすることを、発注者に要請するクラウドソーシングシステムが存在する。発注者がした適切な評価をクラウドソーシングシステムで共有した場合、業務の受注者を募集する者は、その評価を参考にして、業務の受注を希望する多くの者の中から能力の高い者を選択することができる。

[0020] しかし、或る企業の発注者は、評価対象の他の企業の受注者のことを思う

あまり、本来の評価よりも高い評価をシステムに入力するかもしれない。また、或る企業の発注者は、企業間の関係が悪化する可能性を考慮して、他の企業の受注者を低く評価することを避けるかもしれない。さらに、発注者は、評価をすることにメリットを感じず、本来の評価とはかけ離れた評価をシステムに入力するかもしれない。これらの可能性を考慮すると、システムが提供する評価の信頼性が低下するおそれがある。この場合、受注者に対する評価を共有しても、業務の発注者は、受注者を選択する際の参考データとして、その評価を活用することができない。

[0021] [マッチングの主体を企業とすることに関する特殊性]

一般に、企業間を跨いで人材と業務とをマッチングをするためには、人材と業務とをマッチングする企業同士で信頼関係などの親密な関係性が必要とされる。したがって、たとえば、資本関係の無い企業間を跨いで人材と業務マッチングをすることは非常に困難である。また、上場企業などの大企業は多角経営等の観点から他社と競合しやすく、他社との間でカニバリゼーションが生じるため、数多くの企業との間で、人材と業務のマッチングをすることができないという特殊事情が存在する。

[0022] 本実施の形態においては、従来のクラウドソーシングが抱える上述の様々な課題のうちの少なくとも1つを解決することを目的として、以下に詳述するマッチングシステム1を提案する。

[0023] [全体構成]

図1を参照して、マッチングシステム1の概要の構成を説明する。マッチングシステム1は、シェアリングサーバ100と、募集者装置200A, 200B, 200C…と、応募者装置300A, 300B, 300C…とを備える。

[0024] シェアリングサーバ100は、企業間での業務の発注および受注をマッチングさせるマッチングサービスを多数の企業に提供する。図1には、マッチングサービスを利用する企業の例として、企業A、企業B、企業C…が示されている。企業A、企業B、企業C…は、マッチングシステム1の企業会員

として登録されている。企業A、企業B、企業C…の従業員のうち、マッチングシステム1を利用する者も個別にマッチングシステム1の会員として登録されている。

[0025] マッチングシステム1において斡旋される業務は、たとえば、予め定めた期間で完了することが想定される一時的な業務である。このため、マッチングシステム1において斡旋される業務を受注する者は、企業内で自身が所属する特定の部門での業務を本業とし、マッチングシステム1において斡旋される業務を副業として、各々の業務に従事する。なお、マッチングシステム1において、たとえば、企業Aの応募者は、企業Aの業務を受注することも可能である。したがって、マッチングシステム1においては、企業Aの部門Xの業務を、企業Aの異なる部門Yに所属する応募者が受注することも許される。

[0026] 以下、マッチングシステム1において受注者が募集されている業務を「募集業務」または「募集案件」と称することがあり、募集案件を提供する者を「募集者」と称することがあり、募集案件の受注に応募する者を「応募者」と称することがある。募集業務に応募することを「募集業務への応募」または「募集案件への応募」と称することがある。

[0027] 募集案件を受注した応募者は、「受注者」に該当し、受注者に案件を発注した募集者は「発注者」に該当するが、以下においては、「受注者」を含めて「応募者」と称する場合があります、「発注者」を含めて「募集者」と称する場合があります。

[0028] シェアリングサーバ100には、マッチングサービスに必要なデータベース120が構築されている。データベース120は、マッチングサービスを提供するために必要な情報が登録された様々なデータベースを含む。たとえば、データベース120には、会員および募集業務の情報などが登録されている。シェアリングサーバ100は、マッチングサービスを利用する企業とは別の企業によって管理および運用されている。マッチングサービスを利用するいずれかの企業がシェアリングサーバ100を管理および運用してもよ

い。

[0029] 募集者装置200Aは、企業Aの管理者によって操作される。募集者装置200Bは、企業Bの管理者によって操作される。募集者装置200Cは、企業Cの管理者によって操作される。以下、募集者装置200A、200B、200C…を「募集者装置200」と総称することがある。

[0030] 応募者装置300Aは、企業Aの応募者によって操作される。応募者装置300Bは、企業Bの応募者によって操作される。応募者装置300Cは、企業Cの応募者によって操作される。以下、応募者装置300A、300B、300C…を「応募者装置300」と総称することがある。図1には、各企業に対して2名の応募者が描かれているが、応募者の人数はこれに限定されない。さらに多くの応募者が各企業に存在してもよいし、ある企業では応募者が1人であってもよい。シェアリングサーバ100は、フリーランス等、企業に属さない者を応募者として受け付けてもよい。

[0031] 企業A、企業B、企業C…の管理者は、本実施の形態において、募集者としての役割を担うものとする。したがって、以下においては、各企業の管理者を「募集者」と称することがある。募集者は、他の募集者が募集している業務に対して応募者として振る舞うことも可能である。その場合、募集者装置200は、応募者装置300として機能する。本実施の形態においては、企業の管理者が募集者として振る舞うときには、その管理者がマッチングサービスの利用に用いる装置を募集者装置200と称する。

[0032] 企業Aの管理者は、1人であっても、複数人であってもよい。企業Aに管理者を配置する場合、各管理者に募集者装置200を与えてもよく、1台の募集者装置200を複数人で共用してもよい。企業B、企業C…についても同様である。

[0033] シェアリングサーバ100と募集者装置200とは、通信回線網の一例となるインターネット50を介して通信可能に構成されている。シェアリングサーバ100と応募者装置300とは、インターネット50を介して通信可能に構成されている。

- [0034] シェアリングサーバ100は、募集者装置200のアクセスを受け付ける際に会員IDおよびパスワードの入力を伴うサインインを要求する。同様に、シェアリングサーバ100は、応募者装置300のアクセスを受け付ける際に会員IDおよびパスワードの入力を伴うサインインを要求する。シェアリングサーバ100は、サインインの際に通知される会員IDによって募集者および応募者の一人ひとりを特定する。
- [0035] 募集者装置200は、募集者の様々な操作を受け付ける。たとえば、募集者装置200は、募集案件（依頼業務）を入力する操作、業務を終えた受注者に対する評価を入力する操作、およびマッチングサービスの会員を検索する操作などを受け付ける。
- [0036] 募集者装置200は、募集者装置200に対するそれぞれの操作に応じてシェアリングサーバ100と通信する。シェアリングサーバ100は、募集案件（依頼業務）を入力する操作に応じて募集案件をデータベース120に登録し、評価を入力する操作に応じて対象の応募者（受注者）の評価をデータベース120に登録し、会員を検索する操作に応じて、会員の情報を募集者装置200に提供する。
- [0037] 応募者装置300は、応募者の様々な操作を受け付ける。たとえば、応募者装置300は、募集案件を検索する操作、募集案件に応募する操作、および業務の実績を入力する操作などを受け付ける。
- [0038] 応募者装置300は、応募者装置300に対するそれぞれの操作に応じてシェアリングサーバ100と通信する。シェアリングサーバ100は、募集案件を検索する操作に応じて適切な募集案件に応募者装置300に提供し、募集案件に応募する操作に応じて採用または不採用の通知に応募者装置300に発行し、業務の実績を入力する操作に応じて、業務の実績をデータベース120に登録する。
- [0039] 以上のとおり、マッチングシステム1は、業務の応募者（受注者）を評価する評価システムと、業務の受注者を募集する募集システムとを含んでいる。

[0040] 企業Aのある部門に所属する募集者は、マッチングシステム1を利用することにより、企業Aの他の部門に所属する応募者を募集案件の受注者として採用することが可能である。企業Aに所属する募集者は、マッチングシステム1を利用することにより、企業Bに所属する応募者を募集案件の受注者として採用することが可能である。

[0041] 図2は、シェアリングサーバ100、募集者装置200、および応募者装置300の構成を示すブロック図である。

[0042] [シェアリングサーバ100の構成]

シェアリングサーバ100は、プロセッサ101と、メモリ102と、ストレージ103と、通信インターフェイス104とを備える。

[0043] メモリ102は、RAM(Random Access Memory)、ROM(Read Only Memory)、フラッシュメモリ、または他の任意の適切なメモリシステムを含む。メモリ102は、プロセッサ101の演算処理に必要なプログラム、および演算処理において算出される一時的なデータなどを格納する。

[0044] ストレージ103は、ハードディスクドライブおよびソリッドステートドライブなどにより構成される。ストレージ103には、データベース120が格納されている。データベース120は、複数種類のデータベースを含む。複数種類のデータベースには、企業データベース(企業DB)121、会員データベース(会員DB)122、コミュニティデータベース(コミュニティDB)123、募集案件データベース(募集案件DB)124、副業データベース(副業DB)125、評価入力データベース(評価入力)126、および評価サマリデータベース(評価サマリDB)127が含まれる。

[0045] シェアリングサーバ100と別に設けたストレージに、これらの複数種類のデータベースのうちの一部を格納してもよい。たとえば、シェアリングサーバ100とは別のクラウドサービスに接続し、図2に示される複数種類のデータベースの一部をそのクラウド上に格納してもよい。この場合、シェアリングサーバ100は、インターネット50を介して、そのクラウドと通信することにより、必要なデータベースにアクセスすることができる。

[0046] プロセッサ１０１は、メモリ１０２に格納されたプログラムに従い、通信インターフェイス１０４を介してインターネット５０に接続する。プロセッサ１０１は、インターネット５０に接続し、募集者装置２００および応募者装置３００と通信する。プロセッサ１０１は、データベース１２０にアクセスし、必要なデータを抽出する処理、データベース１２０に新たなデータを登録する処理、およびデータベース１２０に登録されているデータを更新する処理などを実行する。

[0047] [募集者装置２００の構成]

募集者装置２００は、プロセッサ２０１と、メモリ２０２と、通信インターフェイス２０３と、入出力インターフェイス２０４と、ディスプレイ２０５と、操作部２０６とを備える。操作部２０６は、マウスおよびキーボードなどにより構成される。

[0048] メモリ２０２は、ＲＡＭ（Random Access Memory）、ＲＯＭ（Read Only Memory）、フラッシュメモリ、または他の任意の適切なメモリシステムを含む。メモリ２０２は、プロセッサ２０１の演算処理に必要なプログラム、および演算処理において算出される一時的なデータなどを格納する。

[0049] プロセッサ２０１は、メモリ２０２に格納されたプログラムに従い、通信インターフェイス２０３を介してインターネット５０に接続する。プロセッサ２０１は、インターネット５０に接続し、シェアリングサーバ１００と通信する。プロセッサ２０１は、シェアリングサーバ１００と通信し、募集案件を送信する処理、応募者である会員の情報をディスプレイ２０５に表示する処理、応募者の中から選択された受注者に業務を発注する処理、募集者が入力した受注者の評価の内容をシェアリングサーバ１００へ送信する処理などを実行する。

[0050] 操作部２０６の操作により入力された情報は、入出力インターフェイス２０４を介して、プロセッサ２０１に通知される。

[0051] [応募者装置３００の構成]

応募者装置３００は、プロセッサ３０１と、メモリ３０２と、通信インタ

ーフェイス３０３と、入出力インターフェイス３０４と、ディスプレイ３０５と、操作部３０６とを備える。操作部３０６は、マウスおよびキーボードなどにより構成される。

[0052] メモリ３０２は、ＲＡＭ（Random Access Memory）、ＲＯＭ（Read Only Memory）、フラッシュメモリ、または他の任意の適切なメモリシステムを含む。メモリ３０２は、プロセッサ３０１の演算処理に必要なプログラム、および演算処理において算出される一時的なデータなどを格納する。

[0053] プロセッサ３０１は、メモリ３０２に格納されたプログラムに従い、通信インターフェイス３０３を介してインターネット５０に接続する。プロセッサ３０１は、インターネット５０に接続し、シェアリングサーバ１００と通信する。プロセッサ３０１は、シェアリングサーバ１００と通信し、募集案件に応募する処理、応募した案件に対する採用または不採用の通知をディスプレイ３０５に表示する処理、受注した業務の実績をシェアリングサーバ１００に送信する処理などを実行する。

[0054] 操作部３０６の操作により入力された情報は、入出力インターフェイス３０４を介して、プロセッサ３０１に通知される。

[0055] [データベース１２０の概要]

以下、データベース１２０の概要を説明する。企業データベース１２１には、マッチングシステム１に加盟する企業の情報が登録されている。会員データベース１２２には、マッチングシステム１を利用する会員の情報が登録されている。多くの会員は、マッチングシステム１に加盟する企業の従業員である。

[0056] 会員データベース１２２に登録された会員は、マッチングシステム１を利用することにより、募集者（発注者）として、または応募者（受注者）として、活動することができる。会員には、企業データベース１２１に登録されている企業に所属する従業員の他、企業に所属しない個人（フリーランス）が含まれてもよい。

[0057] コミュニティデータベース１２３には、コミュニティに所属する企業を特

定するための情報が格納されている。コミュニティは、企業同士の合意によって形成される。したがって、企業間の合意の仕方によって、複数のコミュニティを形成することができる。1つのコミュニティに所属する企業の数も様々に設定することができる。コミュニティ関係を有する企業同士では、コミュニティを形成する際の合意の仕方により定まる範囲で信頼関係が形成される。コミュニティデータベース123には、コミュニティに所属する企業を特定するための情報がコミュニティ毎に登録されている。

[0058] 募集案件データベース124には、受注者を募集する業務（募集案件）が登録されている。各企業の従業員は、企業において所属する部門の本業に従事しつつ、マッチングシステム1の会員として、募集案件データベース124に登録されている自企業の他部門の案件または他の企業の案件を受注することができる。この場合、会員は、自企業の他部門の案件または他の企業の案件を副業として受注する。

[0059] 副業データベース125には、副業の状況を示すデータが会員毎に登録されている。副業の状況を示すデータには、副業実績、副業予定などの情報が含まれる。

[0060] 評価入力データベース126には、業務の応募者（受注者）に対する評価の情報が登録されている。業務の募集者（発注者）は、マッチングシステム1を利用することにより、業務を終えた応募者（受注者）の仕事ぶりを評価者として評価することができる。個々の評価者がした評価が評価入力データベース126に登録される。

[0061] 評価サマリデータベース127には、評価サマリが登録される。評価サマリデータベース127には、評価サマリが会員別に登録される。募集者は、評価サマリを閲覧することができる。募集者は、募集案件に応募している会員の評価サマリを閲覧しつつ、適切と思われる会員を受注者として選択することができる。

[0062] [企業データベース121]

図3は、企業データベース121の一例を示す図である。企業データベー

ス 1 2 1 には、企業を識別するための企業 ID、企業名、企業の住所、および副業上限時間が企業別に登録されている。副業上限時間は、従業員が本業と別に副業として業務をすることが許可されている上限時間である。副業上限時間は、企業毎に定められている。たとえば、副業上限時間は、「規定の残業時間-副業以外の本業での残業時間」により算出することが可能である。

「規定の残業時間」は、企業によって異なる。なお、図 3 においては、月単位の副業上限時間が示されているが、週単位の上限時間としてもよい。企業毎に副業上限時間の単位を定めてもよい。

[0063] 本実施の形態において、会員は、その会員が所属する企業が定めた副業上限時間を超えない範囲で、様々な企業および部門が募集する業務に応募し、その業務を受注することが許される。

[0064] [会員データベース 1 2 2]

図 4 は、会員データベース 1 2 2 の一例を示す図である。会員データベース 1 2 2 には、会員の各種の情報が登録されている。会員の各種の情報には、会員を識別するための会員 ID、会員が所属する企業の ID、会員名、会員の権限、会員が所属する部門、および副業可能時間が含まれる。

[0065] 会員の権限の種類には、管理者および応募者が含まれる。管理者権限を有する会員には、募集者および応募者としてマッチングシステム 1 を利用する権限が与えられる。応募者権限を有する会員には、応募者としてマッチングシステム 1 を利用する権限が与えられるものの、募集者としてマッチングシステム 1 を利用する権限は与えられない。企業内の部門長には、部門内の部下の副業状況を管理するために、管理者権限が与えられる。管理者権限を有する管理者には、部下である応募者の応募を承認する権限が与えられる。したがって、管理者は、承認者として機能する。

[0066] 副業可能時間は、副業に従事することが可能な残り時間である。副業可能時間は、「副業上限時間-副業総時間」によって算出される。対象者が複数の副業に従事している場合、副業総時間には、それら複数の副業に既に費やした時間が含まれる。副業総時間には、既に副業に費やした時間に加え、副

業の見込時間が含まれる。副業の見込時間は、募集案件データベース124に登録された想定工数によって算出される。図4には、月単位の副業可能時間が示されている。マッチングシステム1を利用して募集業務を検索する応募者には、副業可能時間の範囲の工数で対応可能な業務のみが応募可能な案件として提供される。

[0067] [コミュニティデータベース123]

図5は、コミュニティデータベース123の一例を示す図である。コミュニティデータベース123には、企業間で形成されるコミュニティの情報が登録されている。コミュニティの情報には、コミュニティを識別するためのコミュニティID、コミュニティ名、およびコミュニティに所属する企業のIDリストが含まれる。各企業は、他の企業と合意することによって様々なコミュニティを形成することができる。コミュニティに所属する企業は、他の企業との合意によって、コミュニティに所属する対象とする企業を変更することができる。

[0068] [募集案件データベース124]

図6は、募集案件データベース124の一例を示す図である。募集案件データベース124には、募集案件の情報が登録されている。募集案件の情報には、募集案件を識別するための案件ID、募集案件に登録した募集者が所属する企業のID、非開示企業IDリスト、開示レベル、案件タイトル、想定工数、想定期間、および案件内容が含まれる。

[0069] 非開示企業IDリストには、募集案件の開示を禁止する企業のIDが登録される。開示レベルには、「自社」、「コミュニティ内」、および「すべて」の3段階のレベルのいずれかが設定される。開示レベルが「すべて」に設定された場合、開示対象には、コミュニティ外の応募者も含まれる。

[0070] 図6の募集案件データベース124の右側には、募集案件を閲覧可能な企業のIDが示されている。たとえば、案件ID=001に対応する募集案件では、開示レベルが「自社」に設定されている。この場合、募集案件に登録した企業（企業ID=00A）に所属する会員のみが案件ID=001に対

応する募集案件を閲覧できる。

[0071] 以下、案件IDを用いて、各案件IDに対応する募集案件を案件001、案件002、案件003…と称する場合がある。同様に、コミュニティIDを用いて、各コミュニティIDに対応するコミュニティをコミュニティ01、コミュニティ02、コミュニティ03…と称する場合があり、会員IDを用いて、各会員IDに対応する会員を会員P1、会員P2、会員P3…と称する場合がある。また、以下、企業IDの一部を用いて、各企業IDに対応する企業を企業A、企業B、企業C…と称する場合がある。

[0072] 案件002では、開示レベルが「コミュニティ内」に設定されている。図5に示されるコミュニティデータベース123によれば、案件002を登録した企業Aとコミュニティ関係にある企業は、企業Bおよび企業Cである。したがって、図6に示されるように、企業A、企業B、および企業Cのいずれかに所属する会員のみが案件002を閲覧できる。

[0073] 案件003は、募集案件の登録企業および開示レベルが案件002と同じである。ただし、案件003では、非開示企業IDリストに「00B」が登録されている。したがって、図6に示されるように、企業Aおよび企業Cのいずれかに所属する会員のみが案件003を閲覧でき、企業Bに所属する会員には案件003を閲覧する権限が認められない。

[0074] 開示レベルが「すべて」に設定されている募集案件の場合、すべての会員が対象の募集案件を閲覧できる。図6に示される案件005がこれに該当する。仮に、案件005の非開示企業IDリストに1つまたは複数の企業のIDが登録されていた場合、それらの企業IDの企業に所属する会員には、案件005を閲覧する権限が与えられない。

[0075] 想定工数および想定期間は、募集案件を処理する時間を想定するために、応募者およびマッチングシステム1により用いられる。

[0076] [副業データベース125]

図7は、副業データベース125の一例を示す図である。副業データベース125には、会員の副業の状況を示す情報が副業の案件別に登録されてい

る。副業の状況を示す情報には、副業に従事する会員のID、案件ID、月度（副業への従事期間）、副業予定時間、副業実績時間、副業見込時間、および進捗率が含まれる。

[0077] 副業予定時間は、会員が受注済みの案件を処理するために要すると考えられる時間である。副業を受注している会員は、月毎に副業予定時間を自身の応募者装置300から入力する。入力された副業予定時間が副業データベース125に反映される。たとえば、案件001の想定工数は、募集案件データベース124において、5時間／人・月に設定されている。これは、一月で一人あたり5時間の作業量であることを意味する。通常、会員は、募集案件の想定工数を目安にして副業予定時間を入力する。

[0078] 副業実績時間は、会員が受注済みの案件に実際に従事した時間である。換言すると、副業実績時間は、会員が既に実績として働いた時間である。会員は、受注済みの案件の業務が完了するまで、その案件に従事する都度、任意のタイミングで案件の業務に従事した時間を自身の応募者装置300で入力する。副業データベース125には、応募者装置300で入力された時間の累積値が月毎に副業実績時間として登録される。

[0079] 副業見込時間は、対象の案件の業務に要すると想定される時間である。換言すると、副業見込時間は、会員の今後の労働時間として見込まれる時間である。シェアリングサーバ100は、副業予定時間と副業実績時間とを考慮して、副業見込時間を自動的に設定する。対象の案件の業務が完了するまで、任意のタイミングで副業見込時間を会員が自身の応募者装置300で入力できるようにしてもよい。また、一旦、自動で設定された副業見込時間を会員が修正できるようにしてもよい。副業見込時間は、副業予定時間以下であることが望ましい。しかし、案件の状況によっては、副業予定時間よりも副業見込時間が長くなる可能性もある。案件に従事する会員は、案件の業務が完了するまで、任意のタイミングで副業見込時間を更新することができるようにしてもよい。

[0080] 進捗率は、副業の進捗の程度を示す。進捗率は、副業に従事する者の判断

によって入力される。進捗率は、たとえば、0（%）～100（%）の間で入力される。

[0081] たとえば、会員がある案件を受注した当初、進捗率は0%であり、副業実績時間は0時間であり、副業予定時間と副業見込時間とは一致している。会員が案件の業務を進め、副業実績時間および進捗率を入力することに連動して、副業見込時間が変化する。

[0082] 図7に示される副業データベース125には、会員P2の2021年10月～2021年12月の副業のデータが示されている。図7に示される副業データベース125を参照すると、会員P2は、2021年10月～2021年12月の間で、案件001および案件002に従事していることがわかる。

[0083] 案件001の10月度のデータとして、副業データベース125には、副業予定時間＝5、副業実績時間＝10、および副業見込時間＝10が登録されている。このことから、会員P2は、10月に副業予定時間を超えて案件001に従事したことがわかる。

[0084] 案件002の11月度のデータとして、副業データベース125には、副業予定時間＝10、副業実績時間＝4、および副業見込時間＝8が登録されている。このことから、会員P2は、11月においては、設定された副業見込時間を超えることなく案件002に従事したことがわかる。進捗率が50であることから、会員P2は、11月において、案件002の業務全体の半分を終えたことがわかる。

[0085] 案件001の12月度のデータとして、副業データベース125には、副業予定時間＝5、および副業見込時間＝5が登録されており、副業実績時間は登録されていない。案件002の12月度のデータについても同様に、副業実績時間は登録されていない。これらは、会員P2による副業実績時間の入力待ちであることを意味する。

[0086] シェアリングサーバ100は、副業データベース125の副業見込時間および副業実績時間を用いて、会員が追加で副業をすることのできる余力を算

出する。会員が複数の副業に従事している場合、シェアリングサーバ100は、それらの複数の副業に対応する副業見込時間の合計である「副業総見込時間」と、それらの複数の副業に対応する副業実績時間の合計である「副業総実績時間」とを算出する。シェアリングサーバ100は、「副業上限時間－（副業総見込時間＋副業総実績時間）」を算出することにより、副業の余力を算出する。ここで、「副業総見込時間＋副業総実績時間」を「副業総時間」と定義した場合、副業の余力、すなわち、「副業可能時間」は、「副業上限時間－副業総時間」で算出されることになる。たとえば、図7に示される副業データベース125において、会員P2の12月の副業見込時間の合計である副業総見込時間は15時間（5時間＋10時間）である。また、会員P2の12月の副業総実績時間はゼロである。このとき、会員P2が所属する企業で定められた「副業上限時間」が30時間であるとすれば、会員P2の副業の余力（副業可能時間）は、15時間（30時間－15時間）と算出される。

[0087] ここで、副業見込時間のより具体的な算出手順の一例を説明する。たとえば、「副業見込時間」は、「 $(\text{工数進捗率} / \text{進捗率}) \times \text{副業予定時間} - \text{副業実績時間}$ 」という算出式に基づいて算出してもよい。ここで、「工数進捗率」は、「副業実績時間/副業予定時間」により算出される。「進捗率」は、既に説明したとおり、副業に従事する者の判断によって副業データベース125に入力される率である。

[0088] たとえば、副業予定時間＝10時間で、副業実績時間＝2時間のとき、工数進捗率は20％と算出される。ここで、進捗率を40％とする。このとき、副業見込時間は、「 $(20\% / 40\%) \times 10\text{時間} - 2\text{時間}$ 」＝3時間と算出される。つまり、この算出結果によれば、対象の副業に対する副業見込時間は、3時間ということになる。

[0089] [評価入力データベース126]

図8は、評価入力データベース126の一例を示す図である。評価入力データベース126には、被評価者に対する評価の情報が登録される。評価の

情報には、被評価者の会員ID、評価者の会員ID、および評価結果が含まれる。

[0090] 被評価者は、募集案件への応募者のうち、案件の受注者である。評価者は、案件の募集者（発注者）である。評価入力データベース126には、被評価者に対する評価が評価者別に登録される。評価結果は、10を最大値とし、0を最小値とする数値によって表される。図8には、会員P7が被評価者に該当する場合の例が示されている。

[0091] 業務の募集者（発注者）は、応募者（受注者）に依頼した業務が完了したときに、募集者装置200を用いて、評価者として応募者である被評価者を評価する。評価者の評価結果は、評価入力データベース126に登録される。ある募集者が業務を依頼したことのある応募者に再度、別の業務を依頼した場合、募集者は再びその応募者を評価する。この場合、評価入力データベース126には、先の評価結果と後の評価結果との平均値が登録される。

[0092] したがって、評価入力データベース126に登録される評価結果には、被評価者に対する各評価者の評価の平均値が反映されている。なお、平均値に代えて、評価数に応じて算出する加重平均値および偏差値などを採用してもよい。評価入力データベース126には、案件ID別の評価結果をさらに登録してもよい。

[0093] [評価サマリデータベース127]

図9は、評価サマリデータベース127の一例を示す図である。評価サマリデータベース127には、被評価者に対する部門別の評価の情報が登録される。組織別の評価の情報には、被評価者の会員ID、被評価者が所属する企業のID、評価者が所属する企業のID、評価者が所属する部門、および評価サマリが含まれる。

[0094] 図9には、会員P7が被評価者に該当する場合の例が示されている。被評価者の企業IDは、「00C」である。このため、会員P7は企業Cに所属する。図9において、データ群127Aは、会員P7に対する企業Aの評価を表し、データ群127Bは、会員P7に対する企業Bの評価を表す。

[0095] データ群 1 2 7 A を参照すると、企業 A の評価は、企業全体の評価、企業 A 内のシステム部の評価、および企業 A 内の企画部の評価のカテゴリに分類されていることがわかる。評価サマリには、分類された各々のカテゴリに対応する評価の平均値が登録される。

[0096] たとえば、企業 A 全体に対応する評価サマリとしては、会員 P 7 を評価した企業 A の会員の評価結果の平均値が登録される。システム部に対応する評価サマリとしては、会員 P 7 を評価した企業 A の会員のうち、システム部に所属する会員の評価結果の平均値が登録される。

[0097] 会員 P 7 に対する企業 B の評価を表すデータ群 1 2 7 B も同様に、企業 B 全体の評価サマリと企業 B 内の部門別の評価サマリとが評価サマリデータベース 1 2 7 に登録される。

[0098] シェアリングサーバ 1 0 0 は、評価入力データベース 1 2 6 を用いて各会員の評価結果を特定し、会員データベース 1 2 2 を用いて各会員の所属を特定する。シェアリングサーバ 1 0 0 は、それらの特定結果に基づいて評価サマリデータベース 1 2 7 のデータを更新する。

[0099] なお、図 9 には、被評価者として会員 P 7 のみが示されているが、他の会員 P 1 ~ P 6、会員 P 8、および会員 P 9 …についても同様に、被評価者として評価サマリデータベース 1 2 7 に登録されている。

[0100] [シェアリングサーバ、募集者装置、および応募者装置の機能]

図 1 0 ~ 図 1 2 は、シェアリングサーバ、募集者装置、および応募者装置の機能を説明するための図である。

[0101] 図 1 0 に示されるように、シェアリングサーバ 1 0 0 は、コミュニティ登録部 1 4 0、企業登録部 1 4 1、会員登録部 1 4 2、会員検索部 1 4 3、および案件登録部 1 4 4 を機能的に含む。これらの各種の機能は、シェアリングサーバ 1 0 0 が備えるプロセッサ 1 0 1、メモリ 1 0 2、ストレージ 1 0 3、および通信インターフェイス 1 0 4 によって実現される。

[0102] コミュニティ登録部 1 4 0 は、コミュニティをコミュニティデータベース 1 2 3 に登録する機能を備える。マッチングシステム 1 を管理するシステム

管理者は、図示を省略するキーボードなどの操作部を用いて、コミュニティに関する情報をシェアリングサーバ１００に入力する。

[0103] コミュニティに関する情報には、コミュニティ名、コミュニティに所属する企業の情報が含まれる。コミュニティ登録部１４０は、システム管理者の入力に従って、コミュニティをコミュニティデータベース１２３に登録する（ステップＳ１）。コミュニティ登録部１４０は、コミュニティデータベース１２３に登録されているコミュニティの情報を更新する機能をさらに備える。

[0104] 企業登録部１４１は、マッチングシステム１に加盟する新規の企業を登録する機能を備える。システム管理者は、キーボードなどの操作部を用いて、企業に関する情報をシェアリングサーバ１００に入力する。

[0105] 企業に関する情報には、企業名、住所、副業上限時間などの情報が含まれる。企業登録部１４１は、システム管理者の入力に従って、企業を企業データベース１２１に登録する（ステップＳ２）。企業登録部１４１は、既に登録されている企業の情報を更新する機能をさらに備える。

[0106] 会員登録部１４２は、マッチングシステム１に加入する新規の会員を登録（サインアップ）する機能を備える。会員登録部１４２は、マッチングシステム１に加盟している企業に所属する者からの要求に応じて、会員ＩＤおよびパスワードを発行する。会員になることを希望する者は、パーソナルコンピュータなどを用いて、サインアップの処理を実行する（ステップＳ３）。

[0107] 具体的には、会員になることを希望する者は、氏名、所属企業、および所属部門などの情報をパーソナルコンピュータなどに入力し、入力した情報をシェアリングサーバ１００へ送信する。会員登録部１４２は、入力された情報を会員データベース１２２に登録する。新規会員は、会員登録に用いたパーソナルコンピュータを用いて、シェアリングサーバ１００にサインインすることが可能である。この場合、パーソナルコンピュータは、募集者装置２００または応募者装置３００として機能する。

[0108] 図１０には、２つの応募者装置３００が示されている。一方は、応募企業

の管理者により操作されることを想定した装置である。他方は、応募企業のうち、管理者以外の者によって操作されることを想定した装置である。応募企業の管理者は、部門長などの管理職に従事し、部下である応募者の上司に該当する。本実施の形態では、応募企業の管理者は、部下による募集案件への応募を承認する承認者としての役割を担う。

[0109] 会員検索部 143 は、マッチングシステム 1 の会員を検索する機能を備える。募集者装置 200 は、募集者の検索操作を受け付けた場合に、会員検索処理を実行する（ステップ S4）。同様に、応募者装置 200 は、ある応募者の上司に該当する管理者の検索操作を受け付けた場合に、会員検索処理を実行する（ステップ S4）。会員検索部 143 は、会員データベース 122 に登録されている会員の情報を募集者装置 200 および管理者の応募者装置 300 に提供する。

[0110] 募集者装置 200 により実行される会員検索処理（ステップ S4）、および会員検索部 143 の処理に関して、後に図 17 を用いて詳細に説明する。

[0111] 案件登録部 144 は、募集案件を募集案件データベース 124 に登録する機能を備える。募集者装置 200 は、募集案件を入力する操作を受け付けた場合に、募集案件を登録する処理を実行する（ステップ S5）。募集案件を登録する処理において、募集者装置 200 は、募集案件の情報をシェアリングサーバ 100 へ送信する。案件登録部 144 は、受信した募集案件の情報を募集案件データベース 124 に登録する。

[0112] 募集者装置 200 により実行される募集案件登録処理（ステップ S5）、および案件登録部 144 の処理に関して、後に図 13 を用いて詳細に説明する。

[0113] 図 11 に示されるように、シェアリングサーバ 100 は、案件抽出部 145、申請部 146、承認部 147、および通知部 148 を機能的に含む。これらの各種の機能は、シェアリングサーバ 100 が備えるプロセッサ 101、メモリ 102、ストレージ 103、および通信インターフェイス 104 によって実現される。

- [0114] 案件抽出部 145 は、応募者が閲覧可能な募集案件を抽出する機能を備える。申請部 146 は、応募者による応募を、管理者（応募者の上司）に申請する機能を備える。承認部 147 は、管理者（承認者）から応募の承認を受信したことを条件に、募集者へ募集案件に対する応募の内容を送信する機能を有する。通知部 148 は、募集者から応募者を採用するか否かの結果を受信し、その結果を応募者および管理者へ通知する機能を有する。
- [0115] 申請部 146、承認部 147、および通知部 148 は、管理者へ承認を求める通知、募集者への応募者の通知、および応募者への応募結果の通知をワークフローシステムにより実現する。
- [0116] 応募者装置 300 は、募集案件の検索を要求する応募者の操作を受け付けた場合、募集案件の検索処理を実行する（ステップ S6）。募集案件の検索処理において、応募者装置 300 は、検索要求をシェアリングサーバ 100 の案件抽出部 145 へ送信する。
- [0117] 案件抽出部 145 は、検索要求を受信した場合、募集案件データベース 124 に登録されている募集案件の中から、応募者の閲覧が許容される案件を抽出し、抽出した案件を応募者装置 300 へ送信する。案件抽出部 145 は、応募者の閲覧が許容される案件であることを第 1 基準および第 2 基準で判定する。第 1 基準は、募集案件に設定されている開示範囲である。第 2 基準は、応募者の副業の余力である。開示範囲は、図 13 に示される開示情報によって定まる。副業の余力は、図 14 に示される副業可能時間として算出される。
- [0118] 案件抽出部 145 は、第 1 基準および第 2 基準のいずれも満たす案件を応募者の閲覧が許容される案件として決定する。したがって、案件抽出部 145 は、募集案件データベース 124 に登録されている募集案件のうち、検索要求を受信した応募者への開示が許されている案件を抽出する。さらに、案件抽出部 145 は、募集案件データベース 124 に登録されている募集案件のうち、検索要求を受信した応募者の副業可能時間で対応可能な案件を抽出する。案件抽出部 145 は、応募者の閲覧が許容される案件を応募者装置 3

〇〇へ送信する。

[0119] 案件を抽出する基準を設定する操作を案件抽出部 145 が受け付けるようにしてもよい。たとえば、第 1 基準のみを有効にする第 1 設定、第 2 基準のみを有効にする第 2 設定、第 1 基準および第 2 基準の双方を有効にする第 3 設定のいずれかをシステム管理者が選択できる機能をシェアリングサーバ 100 に追加してもよい。

[0120] 応募者装置 300 は、案件抽出部 145 から募集案件を受信する。応募者装置 300 は、受信した募集案件をディスプレイ 305 に表示する（ステップ S 7）。

[0121] なお、募集案件検索処理（ステップ S 6）、募集案件を表示する処理（ステップ S 7）、および案件抽出部 145 の処理に関して、後に図 14 を用いて詳細に説明する。

[0122] 応募者は、応募者装置 300 において、ディスプレイ 305 に表示された募集案件の中から応募対象を選択する操作を行う。応募者装置 300 は、応募者の操作に応じて、応募処理を実行する（ステップ S 8）。応募処理において、応募者装置 300 は、応募対象の案件を示す応募情報をシェアリングサーバ 100 の申請部 146 に送信する。これにより、業務の受注希望が応募者装置 300 から申請部 146 に送信される。

[0123] 申請部 146 は、応募者装置 300 から受信した応募情報を管理者（応募者の上司）の応募者装置 300 に送信する。申請部 146 は、たとえば、会員データベース 122 に登録されている、応募者の会員 ID と上司の会員 ID との関係に基づいて、応募者の管理者である上司の会員 ID を特定する。申請部 146 は、特定した上司の会員 ID に対応する応募者装置 300 へ部下の応募情報を送信する。管理者は、自身の応募者装置 300 において、部下が応募している業務を確認する。管理者は、応募者装置 300 において、応募を承認するための操作を行う。応募者装置 300 は、承認操作を受け付け、応募承認の処理を実行する（ステップ S 9）。応募承認の処理において、応募者装置 300 は、承認情報をシェアリングサーバ 100 の承認部 147

へ送信する。これにより、承認通知の一例となる承認情報が管理者（承認者）の応募者装置３００から承認部１４７に送信される。

[0124] 承認部１４７は、応募者装置３００から承認情報を受信したことを条件に、応募者の応募を受け付ける。このように、本実施の形態では、応募者の応募は、応募者が所属する管理者の承認を条件にして受け付けられる。したがって、管理者は、部下が応募しようとする募集業務の内容を事前に確認することができる。その結果、従業員の副業行為を通じて機密情報が企業の外部に漏洩することを防止できる。

[0125] なお、図１１には、管理者が応募を承認したときの流れが示されている。仮に、ステップＳ９において、応募を却下する操作が受け付けられた場合、管理者の応募者装置３００から承認部１４７へ却下情報が送信される。却下情報を受信した場合、承認部１４７は、応募者の応募者装置３００へ応募の却下を通知してもよい。

[0126] 応募者の応募を受け付けた承認部１４７は、募集者装置２００に応募情報を送信する。応募情報には応募者の情報および応募対象の業務の内容が含まれる。募集者装置２００は、応募内容をディスプレイ２０５に表示する（ステップＳ１０）。募集者は、ディスプレイ２０５の表示に基づいて応募者および応募業務を確認し、応募者を採用するか否かを判断する。

[0127] 募集者は、募集者装置２００に採用または不採用の判断の結果を入力する。募集者装置２００は、入力された結果を受け付ける（ステップＳ１１）。募集者装置２００は、受け付けた採用または不採用の結果をシェアリングサーバ１００の通知部１４８へ送信する。

[0128] 通知部１４８は、募集者装置２００から採用または不採用の結果を受信した場合、応募者の応募者装置３００、および管理者の応募者装置３００へ応募結果（採用または不採用の結果）送信する。

[0129] 応募者の応募者装置３００、および管理者の応募者装置３００は、応募結果をディスプレイ３０５に表示する（ステップＳ１２、ステップＳ１３）。応募者および管理者は、ディスプレイ３０５の表示を見ることによって、応

募結果を確認する。

- [0130] 図12に示されるように、シェアリングサーバ100は、実績受付部149、実績出力部150、評価受付部151、および評価出力部152を機能的に含む。これらの各種の機能は、シェアリングサーバ100が備えるプロセッサ101、メモリ102、ストレージ103、および通信インターフェイス104によって実現される。
- [0131] 実績受付部149は、応募者が応募者装置300において入力した副業予定時間および副業実績時間を受け付ける機能を備える。実績出力部150は、募集者装置200または管理者の応募者装置300へ、応募者の副業予定時間および副業実績時間を含む情報を出力する機能を備える。
- [0132] 評価受付部151は、募集者が募集者装置200において入力した応募者（受注者）の評価を受け付ける機能を備える。評価出力部152は、募集者装置200へ応募者の評価を示す情報を出力する機能を備える。
- [0133] 応募者は、副業に従事する場合、副業予定時間および副業実績時間を応募者装置300に入力する。応募者は、通常、新たな副業を受注したときに副業予定時間を応募者装置300に入力し、副業に従事している間の任意のタイミングで副業実績時間を応募者装置300に入力する。たとえば、想定期間が複数月に亘る業務を副業として受注した場合、応募者は、一月毎に副業実績時間を応募者装置300に入力する。
- [0134] 応募者装置300は、副業予定時間および副業実績時間の入力を受け付ける（ステップS14）。応募者装置300は、受け付けた副業予定時間および副業実績時間をシェアリングサーバ100の実績受付部149へ送信する。
- [0135] 実績受付部149は、受信した副業予定時間および副業実績時間を副業データベース125に登録する。応募者装置300により実行されるステップS14の処理および実績受付部149の処理に関して、後に図15を用いて詳細に説明する。
- [0136] 実績出力部150は、副業データベース125に登録されている副業予定

時間および副業実績時間を募集者装置２００および管理者の応募者装置３００へ送信する。募集者装置２００は、受信した副業予定時間および副業実績時間を含む情報をディスプレイ２０５に表示し、管理者の応募者装置３００は、受信した副業予定時間および副業実績時間を含む情報をディスプレイ３０５に表示する（ステップＳ１５）。ただし、募集者装置２００へ送信される情報と管理者の応募者装置３００へ送信される情報とを比較した場合、送信対象の案件が異なる。

[0137] 実績受付部１４９から管理者の応募者装置３００へは、副業データベース１２５に登録された数多くの案件のうち、部下が担当している案件に対応するデータが送信される。管理者は、ディスプレイ３０５を見ることにより、部下の副業状況を確認することができる。なお、管理者が部下の副業状況を確認するときに管理者の応募者装置３００に表示される画面に関して、後に図２０を用いて説明する。

[0138] 実績受付部１４９から募集者装置２００へは、副業データベース１２５に登録された数多くの案件のうち、募集者が募集した案件に対応するデータが送信される。たとえば、図７に示される副業データベース１２５において、複数の募集者のうち、第１募集者が案件００１を募集し、第２募集者が案件００２を募集していた場合を考える。

[0139] この場合、第１募集者によって操作される募集者装置２００へは、副業データベース１２５のうち、案件００１に対応する各種のデータが実績受付部１４９から送信される。第２募集者によって操作される募集者装置２００へは、副業データベース１２５のうち、案件００２に対応する各種のデータが実績受付部１４９から送信される。

[0140] 第１募集者および第２募集者は、募集者装置２００のディスプレイ３０５に表示される副業予定時間および副業実績時間などを閲覧することにより、自身の案件の進捗状況を確認することができる。

[0141] 募集者は、副業が完了したときに、募集者装置２００に応募者の評価を入力する。募集者装置２００は、入力された評価を受け付ける（ステップＳ１

6)。したがって、募集者装置200は、入力された評価を受け付ける際には、評価者によって操作される評価者装置として機能する。

[0142] 募集者装置200は、受け付けた評価をシェアリングサーバ100の評価受付部151へ送信する。評価受付部151は、受信した評価に基づいて評価入力データベース126および評価サマリデータベース127を更新する。

[0143] 募集者装置200により実行されるステップS16の処理および評価受付部151の処理に関して、後に図16を用いて詳細に説明する。

[0144] 募集者装置200は、募集者が応募者の評価を閲覧するための操作を受け付けた場合、閲覧要求処理を実行する（ステップS17）。閲覧要求処理において、募集者装置200は、閲覧要求をシェアリングサーバ100の評価出力部152へ送信する。評価出力部152は、閲覧要求に応じて、評価サマリデータベース127に登録されている応募者の評価を募集者装置200へ送信する。募集者装置200は、受信した応募者の評価をディスプレイ205に表示する（ステップS18）。

[0145] 募集者装置200により実行されるステップS17、ステップS18の処理および評価出力部152の処理に関して、後に図17を用いて詳細に説明する。

[0146] [案件登録部144および募集者装置200の処理の詳細]

図13は、募集案件を募集案件データベース124に登録する手順を説明するための図である。図13を用いて、図10のステップS5と案件登録部144の機能とをより詳細に説明する。

[0147] 募集案件に登録する募集者は、はじめに募集者装置200を用いてシェアリングサーバ100へサインインをする。これにより、募集者の会員IDによって識別される論理的な通信経路が募集者装置200とシェアリングサーバ100との間で確立される。続いて、募集者は、マウスおよびキーボードなどの操作部206を用いて、募集案件の業務情報および開示情報を募集者装置200に入力する。

- [0148] 操作部206により入力された情報は、募集者装置200の入出力インターフェイス204を介してプロセッサ201に通知される。操作部206および入出力インターフェイス204により、業務の内容を入力する操作と業務を開示する対象を指定する開示情報を入力する操作とを受け付けるインターフェイスが構成されている。
- [0149] 募集案件の業務情報には、案件タイトル、案件内容、想定工数（人・月）、および想定期間が含まれる。開示情報には、開示レベルが含まれる。開示情報には、募集者の選択に応じて、非開示対象の企業のIDが含まれる場合がある。
- [0150] 募集者装置200は、募集案件の業務情報および開示情報の入力を受け付け、募集案件を登録する処理を実行する（ステップS5）。募集案件を登録する処理において、募集者装置200は、募集案件の業務情報および開示情報をシェアリングサーバ100へ送信する。
- [0151] シェアリングサーバ100の案件登録部144は、募集者の情報を取得する（ステップS1441）。具体的には、案件登録部144は、募集者が所属する企業を特定する。
- [0152] シェアリングサーバ100は、会員が募集者装置200または応募者装置300を用いてシェアリングサーバ100にサインインした際、サインインに用いられた会員IDを記憶している。シェアリングサーバ100は、この会員IDにより確立された通信において、募集者装置200または応募者装置300から何らかの情報を受信した場合、それらの情報の発信元の会員をサインインに用いられた会員IDで識別する。
- [0153] したがって、募集者装置200から募集業務の業務情報および開示情報を受信した場合、案件登録部144は、サインインに用いられた会員IDを用いて、募集者装置200を操作している募集者を特定する。案件登録部144は、特定した会員ID、会員データベース122、および企業データベース121を用いて、募集者である会員および募集者が所属する企業を特定する。

- [0154] 次に、案件登録部 144 は、募集案件を募集案件データベース 124 に登録する処理を実行する（ステップ S 144 2）。具体的には、案件登録部 144 は、案件 ID を生成した後、生成した案件 ID に対応付けて、企業情報（企業 ID）、非開示とする企業の ID、開示レベル、案件タイトル、想定工数、想定期間、および案件内容などを募集案件データベース 124 に登録する。
- [0155] 本実施の形態によれば、募集者は、募集案件の開示範囲を「自社内」、「コミュニティ内」、および「限定なし」のレベルで自由にコントロールすることができる。その結果、募集者が意図しない募集案件が特定企業へ開示されてしまうことを阻止することができる。
- [0156] 本実施の形態によれば、非開示対象の企業を開示レベルと別に設定可能である。このため、募集者は、募集者が所属する企業とコミュニティ関係を有する複数の企業のうち、一部の企業を除外して、開示範囲を設定することができる。その結果、コミュニティ内の特定企業に関連する業務が、その特定企業に開示されてしまうことを防止できる。
- [0157] 非開示企業 ID リストに代えて、あるいはこれに加えて、募集案件の開示を禁止する会員 ID を登録するための非開示会員 ID リストを募集案件データベース 124 に設けてもよい。募集者装置 200 は、募集案件の開示を禁止する会員を指定する操作を受け付け、その会員の ID をシェアリングサーバ 100 に送信してもよい。シェアリングサーバ 100 は、非開示会員 ID リストに掲載されている会員 ID に対応する会員には、そのリストに対応する募集案件を提供しないようにしてもよい。このように、募集者装置 200 は、業務の開示を禁止する対象者として、企業および会員のいずれを受け付けてもよい。
- [0158] 図 14 は、データベース 120 の中から募集案件を検索する手順を説明するための図である。図 14 を用いて、図 11 のステップ S 6、ステップ S 7 の処理、および案件抽出部 145 の機能をより詳細に説明する。
- [0159] 応募者装置 300 は、募集案件の検索を要求する応募者の操作を受け付け

た場合、募集案件の検索処理を実行する（ステップS 6）。募集案件の検索処理において、応募者装置300は、検索要求をシェアリングサーバ100の案件抽出部145へ送信する。

[0160] 案件抽出部145は、検索要求を受信した場合、募集案件データベース124に登録されている募集案件の中から、応募者の閲覧が許容される案件を抽出する。このために、案件抽出部145は、ステップS 1451～S 1454の処理を実行する。

[0161] ステップS 1451およびステップS 1452は、募集案件に設定されている開示範囲に基づいて、応募者の閲覧が許容される案件を抽出する処理である。ステップS 1451において、応募者の所属企業および所属企業のコミュニティが判定される。ステップS 1452において、開示可能な案件が抽出される。

[0162] ステップS 1453は、応募者の副業の余力に基づいて、応募者の閲覧が許容される案件を抽出する処理である。ステップS 1454は、最終的に、応募者にマッチングする案件を抽出する処理である。

[0163] [開示範囲に基づいて案件を抽出する処理]

ステップS 1451は、ステップS 1451AおよびステップS 1451Bを含む。

[0164] ステップS 1451Aにおいては、サインインの際に用いられた会員ID、企業データベース121、および会員データベース122に基づいて、応募者の所属企業が特定される。

[0165] ステップS 1451Bにおいては、応募者の所属する企業のIDおよびコミュニティデータベース123に基づいて、応募者の所属する企業のコミュニティが特定される。

[0166] ステップS 1452は、ステップS 1452AおよびステップS 1452Bを含む。

ステップS 1452Aにおいては、応募者の所属企業の所属コミュニティと開示レベルとに基づいて、開示可能な募集案件が募集案件データベース1

24から抽出される。

[0167] ステップS1452Bにおいては、ステップS1452Aにおいて抽出された募集案件のうち、非開示企業リストに応募者の所属企業が存在する募集案件が除外される。ここでは、ステップS1452Bの処理によって抽出された案件を案件Xと称する。

[0168] [副業の余力に基づいて案件を抽出する処理]

ステップS1453は、ステップS1453A、ステップS1453B、およびステップS1453Cを含む。

[0169] ステップS1453Aにおいては、応募者の副業可能時間T1が算出される。副業可能時間は、「副業上限時間－副業総時間」を算出することにより導出される。副業上限時間は、応募者の所属する企業が定めた時間であり、企業データベース121に登録されている。算出された副業可能時間は、会員データベース122に登録される。案件抽出部145は、一定の時間毎にすべての会員の副業可能時間を算出し、算出した副業可能時間を会員データベース122に登録してもよい。

[0170] 副業総時間は、副業データベース125に登録されている副業見込時間と副業実績時間とに基づいて、「副業総見込時間＋副業総実績時間」という算出式により算出される。つまり、副業総時間は、既に副業に費やした時間に加え、未だ副業に費やされていない見込時間が含まれる。

[0171] ステップS1453Bにおいては、業務の対応に必要な時間T2が募集案件毎に算出される。時間T2は、募集案件データベース124に登録されている想定工数（人・月）および想定期間に基づいて算出される。たとえば、想定工数（月）の時間を時間T2として採用してもよい。たとえば、案件ID001に対応する募集案件に対して、時間T2として、一月当たりの時間として5時間を設定してもよい。

[0172] ステップS1453Cにおいては、「時間T2 ≤ 副業可能時間T1」に該当する募集案件が募集案件データベース124から抽出される。ここでは、ステップS1453Cの処理によって抽出された案件を案件Yと称する。

[0173] [開示範囲および副業の余力に基づいて案件を抽出する処理]

案件抽出部 145 は、開示範囲に基づいて案件 X を抽出し、副業の余力に基づいて案件 Y を抽出した後、案件 X と案件 Y とで重複する案件を応募者のマッチング案件として抽出する（ステップ S 1454）。

[0174] [抽出された案件を提供する処理]

次に、案件抽出部 145 は、マッチング案件の情報を応募者装置 300 へ送信する（ステップ S 1455）。応募者装置 300 は、マッチング案件を受信する。応募者装置 300 は、受信したマッチング案件を募集案件としてディスプレイ 305 に一覧表示する（ステップ S 7）。

[0175] これにより、2つの観点において応募者に適切といえる募集案件が提供される。すなわち、第1に、応募者の副業上限時間を超えない範囲で対応可能な募集案件が応募者に提供される。これにより、応募者がオーバーワークの状態に陥ることを防止できる。第2に、募集者が意図した開示範囲に所属する応募者のみに、募集者の募集案件が提供される。これにより、募集者の所属する企業の機密情報が競業他社に漏れてしまうことを防止できる。

[0176] [副業予定時間および副業実績時間を登録する処理]

図 15 は、副業の予定および実績をデータベース 120 に登録する手順を説明するための図である。図 15 を用いて、図 12 のステップ S 14 および実績受付部 149 の機能をより詳細に説明する。

[0177] 応募者は、たとえば、新たな副業を受注したときに副業予定時間を応募者装置 300 に入力し、副業に従事している間の任意のタイミングで副業実績時間を応募者装置 300 に入力する。応募者装置 300 は、副業予定時間の入力を受け付ける（ステップ S 14）。応募者装置 300 は、受け付けた副業予定時間および副業実績時間をシェアリングサーバ 100 の実績受付部 149 へ送信する。

[0178] 実績受付部 149 は、応募者の副業予定時間および副業実績時間を受け付け、受け付けた応募者の副業予定時間および副業実績時間を副業データベース 125 に登録する（ステップ S 1511）。これにより、副業データベー

ス 1 2 5 には、応募者の月毎の副業予定時間および副業実績時間が、案件 I D 別に登録される。

[0179] 通常、応募者によって副業予定時間が入力された後、当月の終わりに応募者によって副業実績時間が入力される。このため、副業データベース 1 2 5 には、副業予定時間が登録されている一方で副業実績時間が未登録の案件が含まれる場合がある。たとえば、副業を受注した応募者が副業予定時間を入力した段階では、その副業に対応するデータとして、副業予定時間が登録されるものの、副業実績時間は登録されない。

[0180] 次に、実績受付部 1 4 9 は、当月の副業見込時間を自動的に算出する（ステップ S 1 5 1 2）。実績受付部 1 4 9 は、副業予定時間と副業実績時間とに基づいて副業見込時間を算出する。具体的には、「副業見込時間」は、既に説明したとおり、「 $(\text{工数進捗率} / \text{進捗率}) \times \text{副業予定時間} - \text{副業実績時間}$ 」という算出式に基づいて算出される。なお、実績受付部 1 4 9 は、「副業見込時間」を「副業予定時間 - 副業実績時間」という算出式により算出してもよい。実績受付部 1 4 9 は、算出した副業見込時間を副業データベース 1 2 5 に登録する。図 7 の副業データベース 1 2 5 に示されるように、副業見込時間は案件 I D 毎に登録される。

[0181] [評価結果を登録する処理]

図 1 6 は、応募者に対する評価をデータベース 1 2 0 に登録する手順を説明するための図である。図 1 6 を用いて、図 1 2 のステップ S 1 6 および評価受付部 1 5 1 の機能をより詳細に説明する。

[0182] 応募者は、副業を完了すると、募集者に対して納品および完了報告をし、募集者の検収を受ける。その後、募集者は、募集者装置 2 0 0 を操作して、募集者装置 2 0 0 に応募者の評価を入力する。募集者装置 2 0 0 は、入力された評価を受け付ける（ステップ S 1 6）。募集者装置 2 0 0 は、受け付けた評価をシェアリングサーバ 1 0 0 の評価受付部 1 5 1 へ送信する。募集者装置 2 0 0 からシェアリングサーバ 1 0 0 に送信される情報には、被評価者である応募者の会員 I D および評価値（0 ~ 1 0）が含まれる。

- [0183] 評価受付部 151 は、募集者装置 200 から被評価者に対する評価の情報を受信した場合、被評価者に対する評価を評価入力データベース 126 に反映させる（ステップ S 1513）。
- [0184] 評価受付部 151 は、評価入力データベース 126 に既に被評価者に対する募集者（評価者）の評価結果が登録されている場合、今回、受信した評価の値を含めて、被評価者に対する評価者の評価結果の平均値を算出する。評価受付部 151 は、算出した平均値で評価入力データベース 126 に登録されている評価結果を更新する。その結果、評価入力データベース 126 には、被評価者に対する評価の平均値（評価結果）が評価者別に登録される。
- [0185] 次に、評価受付部 151 は、評価サマリ処理を実行する（ステップ S 1514）。評価サマリ処理において、評価受付部 151 は、企業別、部門別に被評価者に対する評価結果の平均値を算出し、算出結果を評価サマリデータベース 127 に登録する。
- [0186] たとえば、評価受付部 151 は、募集者装置 200 がステップ S 16 を実行するためにサインインに用いた会員 ID を用いて、評価者を特定する。評価受付部 151 は、ステップ S 1513 において受け付けた評価の情報、企業データベース 121、および会員データベース 122 に基づいて、評価者が所属する企業の ID、評価者が所属する部門、被評価者の会員 ID、および被評価者が所属する企業の ID を特定する。「会員 ID」は、「評価受付部 151 を含むシェアリングサーバ 100 が、シェアリングサーバ 100 にアクセスしてきた者の所属（企業および部門）を識別可能な識別情報」の一例である。
- [0187] 評価受付部 151 は、評価サマリデータベース 127 にアクセスし、特定した ID（被評価者の会員 ID、被評価者が所属する企業の ID、および評価者が所属する企業の ID）が並ぶデータ行を検出する。評価受付部 151 は、検出したデータ行に対応する評価サマリの値を更新する。
- [0188] たとえば、図 9 のデータ群 127A には、被評価者の会員 ID = P7、被評価者が所属する企業の ID = OOC、および評価者が所属する企業の ID

＝００Ａが並んでいる。企業Ａのシステム部に所属する会員が会員Ｐ７を評価した場合、ステップＳ１５１３において、その評価が受け付けられる。

[0189] この場合、ステップＳ１５１４においては、データ群１２７Ａの「全体」に対応する評価サマリおよび「システム部」に対応する評価サマリに、ステップＳ１５１３において受け付けられた評価が反映される。

[0190] より具体的には、評価受付部１５１は、ステップＳ１５１３において受け付けられた評価を含む、企業Ｃ全体の評価の平均値をデータ群１２７Ａの「全体」に対応する評価サマリとする。同様に、評価受付部１５１は、ステップＳ１５１３において受け付けられた評価を含む、システム部の評価の平均値をデータ群１２７Ａの「システム部」に対応する評価サマリとする。

[0191] 図１７は、応募者に対する評価および会員の検索結果をディスプレイ３０５に表示する手順を説明するための図である。図１７を用いて、図１０のステップＳ４（募集者装置２００の処理）および会員検索部１４３の機能、並びに図１２のステップＳ１７および評価出力部１５２の機能をより詳細に説明する。

[0192] [応募者の評価サマリを出力する処理]

募集者装置２００は、募集者が応募者の評価を閲覧するための操作を受け付けた場合、閲覧要求処理を実行する（ステップＳ１７）。閲覧要求処理において、募集者装置２００は、閲覧要求をシェアリングサーバ１００の評価出力部１５２へ送信する。評価出力部１５２は、閲覧要求に応じて、募集者（閲覧要求者）に閲覧権限が認められている評価サマリを評価サマリデータベース１２７から選択する（ステップＳ１５２１）。

[0193] 閲覧要求をした募集者には、募集者の所属する企業全体の評価サマリと、募集者が所属する部門の評価サマリとを閲覧する権限が認められている。閲覧要求をした募集者には、これら以外の評価サマリを閲覧する権限が認められていない。評価出力部１５２は、閲覧要求を送信する募集者の会員ＩＤ、企業データベース１２１、および会員データベース１２２に基づいて、閲覧権限を判定する。「会員ＩＤ」は、「評価受付部１５１を含むシェアリング

サーバ１００が、シェアリングサーバ１００にアクセスしてきた者の所属（企業および部門）および閲覧権限を識別可能な識別情報」の一例である。

[0194] 評価出力部１５２は、閲覧権限に対応する評価サマリを評価サマリデータベース１２７から選択する。評価出力部１５２は、選択した評価サマリを含むデータを募集者装置２００へ送信する（ステップＳ１５２２）。送信されるデータには、評価サマリの他、応募者（被評価者）の会員ＩＤ、応募者が所属する企業の情報、応募者が所属する部門の情報などが含まれる。送信されるデータには、評価出力部１５２の選択対象が存在する場合、複数人の応募者（被評価者）の各々に対応する評価サマリが含まれる。

[0195] 評価サマリを受信した募集者装置２００は、応募者の評価サマリを応募者が所属する企業の情報および応募者が所属する部門の情報とともにディスプレイ２０５に表示する（ステップＳ１８）。複数人の応募者（被評価者）の各々に対応する評価サマリを受信した場合、募集者装置２００は、複数人の応募者（被評価者）を一覧にして評価サマリを表示する。

[0196] このように、シェアリングサーバ１００は、募集者の所属する企業および部門を識別可能な会員ＩＤにより確立された通信において閲覧要求を受信した場合、その閲覧要求を送信した送信元である募集者の募集者装置２００へ、評価情報の一例となる評価サマリを送信する。

[0197] [会員を検索する処理]

募集者装置２００は、業務の受注者を募集する者の検索操作を受け付けた場合に、会員検索処理を実行する（ステップＳ４）。会員検索処理において、募集者装置２００は、検索要求をシェアリングサーバ１００の会員検索部１４３へ送信する。たとえば、検索要求には、会員検索において評価が低い会員を除外する際の基準値が含まれている。

[0198] 検索要求を受信した会員検索部１４３は、検索要求を送信した募集者が所属する企業を特定する（ステップＳ１４３１）。ここでは、ステップＳ１４３１によって特定される企業を「企業Ｘ」と称する。

[0199] 会員検索部１４３は、募集者装置２００がシェアリングサーバ１００にサ

インインする際に用いた会員IDを用いて、募集者装置200を操作している募集者を特定する。会員検索部143は、企業データベース121および会員データベース122を用いて、募集者が所属する企業Xを特定する。

[0200] 次に、会員検索部143は、特定された企業X全体の評価サマリの値が基準値を超える会員を評価サマリデータベース127から抽出する（ステップS1432）。つまり、会員検索部143は、企業X全体の評価が低い会員を除外して、検索結果を抽出する。各企業の募集者装置200から基準値の設定情報を受け付ける機能をシェアリングサーバ100に設けてもよい。これにより、各企業は、独自の基準値で評価の低い会員を検索結果から除外することができる。

[0201] 次に、会員検索部143は、抽出した会員の情報を検索結果として、検索要求のあった募集者装置200へ出力する（ステップS1433）。募集者装置200は、受信した検索結果をディスプレイ205に一覧表示する（ステップS19）。

[0202] その結果、募集者は、募集者が所属する企業の全体評価が低い会員が除外された検索結果をディスプレイ205で閲覧することができる。したがって、募集者は、応募者の中から受注者を選択する際に、企業の全体評価が低い会員を目視で除外する手間を省くことができる。

[0203] なお、本実施の形態では、募集者が所属する企業の或る部門の評価が低い会員であっても、企業全体の評価が低くない場合には、検索結果からその会員が除外されない。しかし、会員検索部143は、そのような会員をさらに検索結果から除外してもよい。

[0204] [評価サマリデータベース127の閲覧可能範囲]

図18は、評価サマリデータベース127の閲覧可能範囲を説明するための図である。図18に示されるように、企業Aの全体の評価から算出された評価サマリに対する閲覧権限は、企業Aに所属するすべての会員（募集者）に認められる。

[0205] 企業Aのシステム部の評価から算出された評価サマリに対する閲覧権限は

、企業Aのシステム部の会員（募集者）に認められるが、企業Aのシステム部以外の会員（募集者）には認められない。企業Aの企画部の評価から算出された評価サマリに対する閲覧権限は、企業Aの企画部の会員（募集者）に認められるが、企業Aの企画部以外の会員（募集者）には認められない。

[0206] 企業Bの全体の評価から算出された評価サマリに対する閲覧権限は、企業Bに所属するすべての会員（募集者）に認められる。企業Bの企画部の評価から算出された評価サマリに対する閲覧権限は、企業Bの企画部の会員（募集者）に認められるが、企業Bの企画部以外の会員（募集者）には認められない。

[0207] 閲覧者を企業Xの第1部門の会員（募集者）と企業Xの第2部門の会員（募集者）とした場合、企業Xの全体の評価サマリ、企業Xの第1部門の評価サマリ、および企業Xの第2部門の評価サマリに対する閲覧者の権限は、図18に示される表401のとおりとなる。

[0208] 企業X全体の評価サマリ、企業Xの第1部門の評価サマリ、および企業Xの第2部門の評価サマリは、企業Xで共有されるものの、企業X以外の企業の会員に公開されることはない。したがって、たとえば、企業Xの募集業務を請け負った企業Yの従業員の仕事の成果が思わしくない場合であっても、企業Xの募集者は、企業同士の関係などを考慮することなく、企業Yの従業員を客観的な尺度で評価することができる。

[0209] また、その評価は、評価サマリとして企業Xの中で共有されるため、一つひとつの評価の積み重ねが有用な情報を生み出すという意識を評価者に持たせることができる。このことは、正確な評価をしようとする動機付けを評価者に与える。その結果、評価サマリの精度が向上する。これにより、評価サマリを、受注者を選択する際の参考データとして有用に活用することができる。

[0210] さらに、本実施の形態によれば、募集者装置200において、会員検索処理（ステップS4）を実行した際、評価の低い会員を除外した検索結果が募集者に提供される（ステップS1432）。つまり、マッチングシステム1

は、評価の低い会員を除外した検索結果を提供するフィルタリング機能を備える。

[0211] このため、募集者は、募集業務に対する受注者を決定する際に、評価の低い会員を誤って採用してしまうことを企業単位で防止できる。なお、シェアリングサーバ100は、部門単位の評価サマリを用いたフィルタリングを実行してもよい。

[0212] 企業全体の評価サマリを用いるフィルタリング、および部門単位の評価サマリを用いるフィルタリングのうち、いずれを用いるかを指令する指令信号を募集者装置200からシェアリングサーバ100に送信してもよい。この場合、シェアリングサーバ100には、指令信号に応じて、フィルタリングに用いる評価サマリを変更する機能を設ける。

[0213] [開示レベルに応じて開示範囲が設定される例]

図19は、開示レベルに応じて開示範囲が設定される例を示す図である。ここでは、図19に示されるように、企業A～企業Eがコミュニティ関係を形成し、企業Fがいずれの企業ともコミュニティ関係をしない場合を考える。この場合、募集者の所属する企業および募集者が設定した開示レベルに応じて、募集案件の開示範囲は表402のとおりとなる。

[0214] 図19に示される「レベル1」～「レベル3」の開示レベルは、既に説明した「自社」、「コミュニティ内」、および「すべて」の3段階のレベルに対応するものである。したがって、レベル1では、募集者の所属する企業と同じ企業の応募者にのみ、募集者の募集案件が開示される。レベル2では、レベル1の範囲に加えて、募集者の所属する企業とコミュニティ関係にある企業に所属する応募者に、募集者の募集案件が開示される。レベル3では、募集者の所属する企業を含むすべての企業に所属する応募者に、募集者の募集案件が開示される。ただし、募集者が非開示とする企業IDを指定した場合、その企業IDに対応する企業は、設定された開示レベルに関わらず、開示対象の企業から除外される。本実施の形態の開示レベルのうち、「レベル1」は、「第1応募者への業務情報の開示を許容し、第1グループに属さな

い応募者への業務情報の開示を禁止すること」に対応するレベルである。「レベル2」は、「第1グループおよび第1グループとコミュニティ関係が形成されたコミュニティグループのいずれかに所属する応募者への業務情報の開示を許容し、第1グループおよびコミュニティグループのいずれにも属さない応募者への業務情報の開示を禁止すること」に対応するレベルである。

「レベル3」は、「応募者が属するグループに関わらず、応募者への業務情報の開示を許容すること」に対応するレベルである。

[0215] ここでは、複数種類の開示レベルの一例として、上記のようなレベル1～レベル3を説明した。しかしながら、複数種類の開示レベルは、これらのものに限定されない。たとえば、あるコミュニティを複数の小コミュニティに分割し、募集業務を開示するか否かを各小コミュニティ別に設定できるようにしてもよい。より具体的には、図5に示されるコミュニティ02を第1小コミュニティと、第2小コミュニティとに分割する。第1小コミュニティには企業Cが所属し、第2小コミュニティには企業Dおよび企業Eが所属するものとする。この場合、企業Dの募集者が自身の募集業務の開示範囲を、第1小コミュニティの範囲とするか、第2小コミュニティの範囲とするか、選択できるようにしてもよい。

[0216] シェアリングサーバ100は、開示範囲を募集案件毎に異ならせて設定する操作を受け付けてもよい。たとえば、多数の募集案件のうち、案件001～案件003を例に挙げて、開示範囲を募集案件毎に異ならせて設定する具体例を説明する。

[0217] たとえば、募集案件001の開示範囲を、コミュニティID=03によって識別されるコミュニティに属する企業A、Cのみに限定してもよい。あるいは、募集案件002の開示範囲を、コミュニティID=02によって識別されるコミュニティに属する企業C、D、Cのみに限定してもよい。あるいは、案件003の開示範囲を、コミュニティID=02によって識別されるコミュニティに属する企業C、D、Cと、コミュニティID=03によって識別されるコミュニティに属する企業A、Cとに限定してもよい。

[0218] [副業状況を確認するときに表示される画面例]

図20は、管理者（応募者の上司）が部下の副業状況を確認するときに表示される画面を示す図である。図20には、応募者装置300に管理者の部下の副業状況が表示される例が示されている。応募者装置300には、操作部として、キーボード306Aおよびマウス306Bが設けられている。

[0219] ここでは、管理者は、たとえば、企業Cの営業部の部門長である。ディスプレイ305には、営業部に所属する従業員の副業状況が示される。管理者は、タブ307A、タブ307B、タブ307C…のいずれかをキーボード306Aまたはマウス306Bで指定することにより、営業部に所属する従業員の副業状況を確認することができる。したがって、管理者は、部下がオーバーワークの状態に陥るおそれがないように、部下の労働時間を管理することができる。なお、進捗率を併せて画面に表示してもよい。

[0220] 本実施の形態における「企業別グループ」および「同一企業内の部門別グループ」は、「グループ」の一例である。フリーランス等、企業に属さない応募者が、一つの「グループ」を構成してもよい。複数の企業により「企業グループ」を構成してもよい。

[0221] 本実施の形態において、「コミュニティ関係を形成する企業」は、「コミュニティグループ」の一例である。

[0222] 本実施の形態において、開示情報に含まれる「非開示対象」の情報は、「業務情報の開示を禁止する対象者を特定可能な情報」の一例である。

[0223] 承認者として機能する管理者の応募者装置300から承認部147に承認情報を送信する通信（図11のS9）は、その承認者の会員IDによって識別される論理的な通信経路において行われる。「承認部147がこのような通信経路において承認情報を受信すること」は、「第1応募者の承認者の識別情報を伴う通信において承認通知を受信すること」の一例である。

[0224] 本実施の形態において、評価サマリデータベース127に登録された「評価サマリ」は、「評価者装置として機能する募集者装置200から受信した

評価に基づいた評価情報」の一例である。

[0225] 本実施の形態において、企業Aに所属する募集者によって操作される「募集者装置200A」は、評価者装置として機能し、「第1グループに所属する1以上の評価者によって操作される第1評価者装置」の一例である。

[0226] 本実施の形態において、企業Bに所属する募集者によって操作される「募集者装置200B」は、評価者装置として機能し、「第1グループと異なる第2グループに所属する1以上の評価者によって操作される第2評価者装置」の一例である。

[0227] 図18には、企業Aの部門として、システム部と企画部とが例示されている。本実施の形態において、「システム部と企画部とのうちの一方」は、第1グループに含まれる「第1分割グループ」の一例であり、他方は、第1グループに含まれる「第2分割グループ」の一例である。

[0228] シェアリングサーバ100は、募集案件データベース124に登録された想定工数、企業データベース121に登録された副業上限時間、副業データベース125に登録された副業実績時間、および副業データベース125に登録された副業見込時間に基づいて、応募者の労働時間が上限時間を超えない業務情報を募集案件データベース124のリストから抽出する。具体的には、シェアリングサーバ100は、たとえば、応募者が複数の副業に従事している場合、各副業に対応する副業実績時間の合計値を算出し、副業総実績時間を求め、各副業に対応する副業見込時間の合計値を算出し、副業総見込時間を求める。シェアリングサーバ100は、求めた副業総実績時間と副業総見込時間と加算し、副業総時間を求める。シェアリングサーバ100は、応募者の副業上限時間から副業総時間を差し引くことにより、応募者の副業可能時間を求める。シェアリングサーバ100は、求めた副業可能時間で対応可能な案件を募集案件データベース124のリストから検索する。このとき、シェアリングサーバ100は、募集案件データベース124の想定工数に基づいて各募集案件の対応に必要な時間を算出し、副業可能時間の範囲にある募集案件を検索する。ここで、「副業上限時間」は、「応募者の労働時

間の上限である上限時間」の一例であり、「副業実績時間」は、「応募者が既に実績として働いた時間である実績時間」の一例であり、「副業見込時間」は、「応募者の労働時間として見込まれる見込時間」の一例である。上限時間は、副業だけでなく、本業時間と副業時間の合計時間に上限を設定した時間でもよい。第1上限時間は、副業上限時間ではなく、本業と副業とを合わせたすべての業務を対象とした上限の時間であってもよい。第1実績時間および第1見込時間は、副業の時間だけでなく、副業と本業とを合わせたすべての業務の合計時間であってもよい。

[0229] 募集者装置200および応募者装置300は、図2に示される、プロセッサ、メモリ、通信インターフェイス、および入出力インターフェイス全てを具備するものだけではなく、VDI (Virtual Desktop Infrastructure)を利用したシンクライアントシステムなどであってもよい。VDIを利用したシンクライアントシステムとは、サーバ上にあるデスクトップ環境を遠隔地にある端末に転送して利用するシステムである。募集者装置200、応募者装置300、およびシェアリングサーバ100は、必ずしも独立した装置である必要は無い。上記のようなシンクライアントシステムを利用する場合、同一の集約サーバ上で募集者装置200、応募者装置300、およびシェアリングサーバ100の機能を提供することができる。

[0230] データベース120は、リレーショナルデータベースに限定されるものではなく、オブジェクト型やNoSQL型などのデータベースを利用してもよい。

[0231] シェアリングサーバ100は、コンピュータ装置の一例である。サーバ（オンプレミスサーバ、クラウドサーバなど）や、サーバレスシステムなどによってコンピュータ装置を構成してもよい。ここで、オンプレミスサーバとは、自社内で管理する設備内に設置され、管理されるサーバである。クラウドサーバとは、ネットワークを通じて別事業者が提供するサーバ（借り受けのサーバ）である。サーバレスシステムとは、サーバの存在を意識せず、必要なときのみコンピュータ・メモリ機能を利用できるシステムである。コンピュータ装置は、サーバとサーバレスシステムとを含む。サーバには、オン

プレミスサーバとクラウドサーバとが含まれる。

[0232] <変形例 1>

次に、図 2 1 ~ 図 2 3 を参照して、変形例 1 を説明する。変形例 1 においては、募集者が多数の会員の中から選択した者に対して、募集業務への募集を促すことができる逆オファー機能を説明する。

[0233] [逆オファー機能を提案する背景]

クラウドソーシングでは、一般的に募集者が募集案件の情報を開示し、募集案件の内容に興味を抱く者からの応募を待つことになる。しかし、このような募集方法では、応募者から応答があるまでに時間がかかるかもしれない。また、募集者の期待するスキルを持つ者から応募があるかどうか不明である。

[0234] そこで、募集者が会員を検索し、適当な会員を指名することが考えられる（逆オファー）。しかし、会員 ID および会員の氏名程度しか募集者に知らされない状態では、募集者が真に希望する応募者を指名することは困難である。また、秘密情報がライバル関係にある企業等に漏れてしまうことがないよう、検索結果からは、ライバル関係にある企業等の会員情報が除外されなければならない。

[0235] 変形例 1 においては、このような背景を踏まえ、会員検索をした募集者に対して、会員の詳細なプロフィール情報を含む検索結果を提供する。さらに、変形例 1 においては、検索結果から、募集者の所属企業等に対してライバル関係にある企業等の会員情報を除外する。以下、図面を用いて、変形例 1 を詳細に説明する。

[0236] 図 2 1 は、変形例 1 に関わるシェアリングサーバ 1 0 0、募集者装置 2 0 0、および応募者装置 3 0 0 の機能を説明するための図である。

[0237] 図 2 1 に示されるように、シェアリングサーバ 1 0 0 は、会員検索部 1 4 3 に加えて、逆オファー依頼部 1 6 1 と、逆オファー承認依頼部 1 6 2 と、逆オファー依頼受託通知部 1 6 3 とを機能的に含む。これらの各種の機能は、シェアリングサーバ 1 0 0 が備えるプロセッサ 1 0 1、メモリ 1 0 2、ス

トレージ１０３、および通信インターフェイス１０４によって実現される。

[0238] 会員検索部１４３は、既に説明したとおり、マッチングシステム１の会員を検索する機能を備える。特に、変形例１において、会員検索部１４３は、会員の詳細なプロフィール情報を検索者に提供する機能を備える。募集者装置２００は、募集者の検索操作を受け付けた場合に、会員検索処理を実行する（ステップＳ２１）。特に、ステップＳ２１において、募集者装置２００は、募集者が逆オファーをするための検索操作を受け付ける。会員検索部１４３は、会員データベース１２２に登録されている会員の情報を募集者装置２００に提供する。提供される会員の情報には、会員の詳細なプロフィール情報が含まれる。ただし、会員検索部１４３は、検索結果から、募集者の所属企業等に対してライバル関係にある企業等の会員情報を除外する。

[0239] 募集者装置２００は、会員検索部１４３から会員情報（検索結果）を受信し、ディスプレイ２０５に検索結果として会員情報を表示する（ステップＳ２２）。その後、募集者装置２００は、募集者が検索結果の中から応募者を選択する操作を受け付ける。すなわち、募集者は、検索結果に基づいて逆オファーする会員を選択し、募集者装置２００を操作することによって逆オファーを実施する（ステップＳ２３）。募集者装置２００は、逆オファーの対象とされる会員の会員ＩＤをシェアリングサーバ１００へ送信する。

[0240] 逆オファー依頼部１６１は、募集者装置２００から逆オファーの対象とされる会員の会員ＩＤを受信する。逆オファー依頼部１６１は、受信した会員ＩＤに対応する会員を特定する。逆オファー依頼部１６１は、逆オファーの対象とされる会員の応募者装置３００へ、逆オファーの依頼を受けたことを通知する。この通知には、逆オファーの対象とされる募集案件の情報を含めてもよい。逆オファーの対象とされる会員は、応募者装置３００により逆オファーの依頼を受信する。ここで受信される「依頼」は、「応募者に対して応募を促す情報」の一例である。逆オファーの対象とされる会員は、逆オファーの依頼を受託するか否かを判断する。逆オファーの対象とされる会員は、応募者装置３００を用いて、逆オファーの依頼を受託する操作、または逆

オファ어의依頼を拒否する操作を行うことができる。応募者装置300は、たとえば、逆オファ어의依頼を受託する（ステップS24）。逆オファ어의依頼を受託した応募者装置300は、応募情報を逆オファ어承認依頼部162へ送信する。

[0241] 逆オファ어承認依頼部162は、応募者の上司へ部下の応募情報を送信する。逆オファ어承認依頼部162は、会員データベース122に登録されている、応募者の会員IDと上司の会員IDとの関係に基づいて、応募者の管理者である上司の会員IDを特定する。応募者の上司は、自身の応募者装置300において応募情報を確認し、応募を承認する（ステップS25）。

[0242] 逆オファ어依頼受託通知部163は、応募者の上司から承認情報を受信する。逆オファ어依頼受託通知部163は、承認情報を受信したことを条件に、応募者の応募を受け付ける。逆オファ어依頼受託通知部163は、逆オファ어를実施した会員からの応募が受け付けられたことを募集者装置200へ通知する。募集者装置200は、その通知に基づいて、逆オファ어가受託されたことを募集者に通知する（ステップS26）。より具体的には、募集者装置200は、逆オファ어가受託されたことを募集者に通知するための情報をディスプレイ205に表示する。

[0243] 図22は、変形例1に関わる会員データベース122Aの一例を示す図である。図22に示される会員データベース122Aには、図4に示される会員データベース122と比較して、プロフィール情報、およびプロフィールを公開するか否かを示すプロフィール公開情報が追加されている。

[0244] マッチングシステム1は、応募者装置300を用いて自身のプロフィール情報を会員データベース122Aに登録および修正することができる権限を会員に与えている。会員は、応募者装置300を用いて自身の様々なプロフィール情報を会員データベース122Aに登録する。プロフィール情報には、たとえば、会員のSPI（Synthetic Personality Inventory）の情報、会員の職務履歴、会員の実績、会員の所有資格などが含まれる。

[0245] 会員は、応募者装置300を用いてプロフィール公開情報を設定する。プ

プロフィール公開情報が可に設定されている会員のプロフィール情報は、検索者に提供される。プロフィール公開情報が不可に設定されている会員のプロフィール情報は、検索者に提供されない。シェアリングサーバ100は、各会員が選択した設定に基づいて、会員データベース122Aにプロフィール公開情報を登録する。このように、シェアリングサーバ100は、複数の会員の各々から、プロフィール情報を検索結果に含めることを許可するか否かを示す情報の入力を受け付ける。

[0246] ここでは、プロフィール公開情報の設定に基づいて、会員のプロフィール情報の公開が許可されるか否かが決定される例を説明した。しかしながら、シェアリングサーバ100は、公開を許可するかの設定操作をプロフィール情報の種類別に受け付けるようにしてもよい。これにより、たとえば、会員は、実績および所有資格を公開対象とする一方、SPIの情報を非公開対象とすることができる。あるいは、プロフィール情報に年齢を含める場合、会員は、年齢を非公開対象とし、それ以外のプロフィール情報を公開対象とすることができる。この場合、シェアリングサーバ100は、複数の登録者（会員）の各々の複数のプロフィール情報を会員データベース122Aに登録する。シェアリングサーバ100は、複数の登録者の各々から、複数のプロフィール情報のうち、検索結果として公開する範囲を設定するための入力を受け付ける。

[0247] 図23は、変形例1に関わる逆オファー会員検索処理の処理手順を示すフローチャートである。本フローチャートに基づく処理は、シェアリングサーバ100により実行される。

[0248] はじめに、シェアリングサーバ100は、検索者が募集案件に適切な会員を検索するための検索要求を受け付ける（ステップS211）。ここでは、検索者は、募集案件を抱える募集者である。募集者は、募集案件に適切なスキルを有する会員に逆オファーをするため、自身の募集者装置200を用いて、会員を検索する。募集者の検索要求がステップS211においてシェアリングサーバ100に受け付けられる。検索要求に検索者の会員IDおよび

募集案件の案件IDを含めてもよい。

[0249] 次に、シェアリングサーバ100は、会員データベース122Aおよび企業データベース121から検索者の所属企業を特定する（ステップS212）。次に、シェアリングサーバ100は、コミュニティデータベース123から検索者の所属コミュニティを特定する（ステップS213）。

[0250] 次に、シェアリングサーバ100は、募集案件データベース124に登録されている募集案件の開示レベルおよび非開示企業IDリストを特定する（ステップS214）。次に、シェアリングサーバ100は、検索者に開示可能な会員を抽出する（ステップS215）。

[0251] より具体的には、シェアリングサーバ100は、検索者（募集者）が抱える募集案件を開示すべきでない企業を募集案件データベース124の非開示企業リストおよび開示レベルに基づいて特定する。シェアリングサーバ100は、そのような企業に所属する会員を検索者に開示不可能な会員と判定する。シェアリングサーバ100は、そのような企業に所属する会員以外を検索者に開示可能な会員として抽出する。

[0252] 次に、シェアリングサーバ100は、会員データベース122Aを参照して、抽出された会員の情報からプロフィール情報を非開示に設定している会員のプロフィール情報を除外する（ステップS216）。

[0253] 次に、シェアリングサーバ100は、抽出した会員の情報を検索要求元へ送信し（ステップS217）、本フローチャートに基づく処理を終了する。検索要求元の募集者装置200は、シェアリングサーバ100から送信された会員の情報を受信し、ディスプレイ205にその情報を表示する。ディスプレイ205に表示された情報には、抽出された各会員のID、氏名、およびプロフィール情報が表示される。ただし、プロフィール情報を非開示としている会員に関しては、会員のIDおよび氏名のみが表示され、プロフィール情報は表示されない。

[0254] 以上、説明したように、変形例1によれば、募集者は、会員の詳細なプロフィール情報を参照しつつ、募集業務への応募に最適と考えられる会員を検

索し、その会員に逆オファーをすることができる。しかも、検索結果として表示される会員からは、募集者の属する企業およびコミュニティとライバル関係にある企業等の会員が除外される。このため、募集者がそのようなライバル企業の会員に業務を発注してしまう不都合を防止できる。さらには、プロフィール情報を公開するか否かを会員自身が決定することができるため、各会員の自由意志が尊重されたシステムを提供できる。

[0255] なお、プロフィール情報のみならず、氏名を公開するか否かを会員が設定できるようにしてもよい。また、プロフィール情報にもいくつかのカテゴリを設け、プロフィール情報を公開するか否かをカテゴリ別に会員が設定できるようにしてもよい。

[0256] 以上のとおりに説明したオファー機能をマッチングシステム 1 に追加することにより、募集案件の閲覧が許可されている会員のプロフィール情報を募集者が確認することができる。さらに、募集者は、募集者自身が発注したいと思う会員に対して応募を促すことができる。また、募集者から応募を促された会員は、案件情報を閲覧し、応募の了承および拒否を行うことができる。また、会員情報の登録時および編集時などにおいて、各会員は、プロフィール情報を公開するか否かを決定することができる。これにより、募集者は、能動的にオファー先を選定し、最適な応募者を早期に業務に従事させることができる。

[0257] <変形例 2>

次に、図 24～図 28 を参照して、変形例 2 を説明する。変形例 2 においては、複数名の会員がグループで募集業務に応募できる会員グループ応募機能を説明する。

[0258] [会員グループ応募機能を提案する背景]

クラウドソーシングでは、一般的に募集者が募集案件の情報を開示し、募集案件の内容に興味を抱く個人がその募集に応募する。しかし、事業の企画から企画に関連する知的財産権の取得に至るまでの包括的な業務等、複数人から成るチームで対応すべき案件、またはチームで対応した方が望ましい案

件も少なくない。このため、募集人数が1名に限られる場合、受注を希望する者は、個人で対応できる以上の業務を請け負うことが難しい。

[0259] 変形例2においては、このような背景を踏まえ、複数名の会員がグループで募集業務に応募できる会員グループ応募機能を提供する。以下、変形例2を詳細に説明する。

[0260] 図24は、変形例2に関わるシェアリングサーバ100、募集者装置200、および応募者装置300の構成を示すブロック図である。図24に示されるブロック図には、図2に示されるブロック図と比較して、会員グループデータベース128が追加されている。図24に示される募集案件データベース124Aには、図6に示される募集案件データベース124に対して、会員グループでの応募を許容する募集案件を登録できる機能が追加されている。

[0261] 会員グループデータベース128には、複数名の会員からなる会員グループが登録されている。募集者は、募集者装置200を用いて、会員グループでの応募を許容する募集案件を募集案件データベース124Aに登録することが可能である。応募者は、応募者装置300を用いて、会員グループでの応募を許容する募集案件に対して、会員グループデータベース128に登録された会員グループによる応募をすることが可能である。

[0262] 図25は、変形例2に関わる会員グループデータベース128の一例を示す図である。会員グループデータベース128には、会員グループの情報が登録されている。会員グループの情報には、会員グループを識別するためのグループID、会員グループの各メンバーが所属する企業の企業ID、および会員グループの各メンバーの会員IDなどが含まれる。

[0263] 以下、グループIDを用いて、各グループIDに対応する会員グループを会員グループG1、会員グループG2、会員グループG3…と称する場合がある。

[0264] 会員グループG1は、会員ID=P1, P2, P5によって識別される3名の会員によって構成されている。会員グループG1に対応して登録されて

いる企業 I D は O O A であるため、3名の会員はいずれも企業 A に所属することがわかる。

[0265] 会員グループ G 2 は、会員 I D = P 1, P 3 によって識別される2名の会員によって構成されている。会員グループ G 2 に対応して登録されている企業 I D は O O A, O O B であるため、2名の会員の一方は企業 A に所属し、他方は企業 B に所属することがわかる。会員グループ G 1 と会員グループ G 2 とを対比することで理解されたとおり、両会員グループ G 1, G 2 には会員 I D = P 1 が登録されている。したがって、会員 P 1 は、2つの会員グループに所属している。

[0266] 会員グループ G 3 は、会員 I D = P 4, P 7, P 8, P 14 によって識別される4名の会員によって構成されている。会員グループ G 3 に対応して登録されている企業 I D は O O C であるため、4名の会員はいずれも企業 C に所属することがわかる。

[0267] 会員グループデータベース 128 は、図 24 に示されるように、シェアリングサーバ 100 のストレージ 103 に格納されている。会員は、同じ企業またはコミュニティなどを通じて知り合った他の会員らの同意を得て、会員グループを形成し、会員グループデータベース 128 に会員グループを登録する。「会員グループ」は、「応募グループ」の一例である。

[0268] 図 26 は、変形例 2 に関わる募集案件データベース 124 A の一例を示す図である。図 26 に示される募集案件データベース 124 A は、図 6 に示される募集案件データベース 124 と比較すると、募集形態の情報が追加されている。募集者は、募集者装置 200 を操作し、募集形態を設定する。シェアリングサーバ 100 は、その設定に基づいた募集形態を業務情報に対応付けて募集案件データベース 124 A に登録する。

[0269] 募集者は、募集形態をグループおよび個人の中から選択することができる。募集者が募集形態を選択しなかった場合、募集案件の募集形態はグループにも個人にも限定されていないものとみなされる。募集形態がグループに設定されている案件は、会員グループのみによって受注可能とされる。募集形

態が個人に設定されている案件は、個々の会員のみによって受注可能とされる。募集形態が限定されていない案件は、会員グループおよび個人のいずれによっても受注可能とされる。「募集形態の情報」は、「受注者を募集する業務が、複数の募集者が共同で応募すべき業務であることを特定可能な情報」の一例である。

[0270] 図27は、変形例2に関わるシェアリングサーバ100、募集者装置200、および応募者装置300の機能を説明するための図である。図27においては、図11と比較して、シェアリングサーバ100に判定部145Aが追加されている。また、図27においては、図11と比較して、ステップS7の後にステップS7Aが追加され、応募のステップS8に代えて、グループ応募のステップS8Aが採用されている。

[0271] ここでは、応募者が複数の会員グループに所属しているものとする。応募者は、応募者装置300を操作して、募集案件を検索する（ステップS6）。応募者装置300は、検索要求をシェアリングサーバ100の案件抽出部145へ送信する。

[0272] 案件抽出部145は、検索要求を受信した場合、図11を用いて説明したとおり、募集案件データベース124に登録されている募集案件の中から、応募者の閲覧が許容される案件を抽出する。案件抽出部145により抽出された案件には、募集形態が「グループ」、「個人」、および「限定せず」のいずれかとされる案件が含まれる。案件抽出部145は、抽出した募集案件を応募者装置300へ送信する。応募者装置300は、案件抽出部145から募集案件を受信する。応募者装置300は、受信した募集案件をディスプレイ305に表示する（ステップS7）。

[0273] ディスプレイ305には、募集案件毎に、開示レベル、案件タイトル、想定工数、想定期間、案件内容、および募集形態などが表示される。会員グループで応募することを希望する場合、応募者は、マウスおよびキーボードなどの操作部306を用いて、会員グループを指定した上で募集形態が「グループ」または「限定せず」とされている案件を選択する。応募者装置300

は、応募者の操作に基づいて、会員グループおよび応募を希望する案件を受け付ける（ステップS 7 A）。応募者装置300は、受け付けた会員グループのグループIDおよび受け付けた案件の案件IDをシェアリングサーバ100へ送信する。シェアリングサーバ100の判定部145Aは、グループIDおよび案件IDを取得する。

[0274] 判定部145Aは、会員グループデータベース128にアクセスし、取得したグループIDに対応して登録されている会員IDを特定する。判定部145Aは、会員データベース122にアクセスし、特定した会員IDに対応する企業IDを特定する。

[0275] 判定部145Aは、コミュニティデータベース123にアクセスし、特定した企業IDの企業が属しているコミュニティのコミュニティIDを特定する。判定部145Aは、募集案件データベース124Aにアクセスし、取得した案件IDに対応して登録されている企業ID（募集者の企業ID）、非開示企業ID、開示レベル、および募集形態を特定する。

[0276] 判定部145Aは、以上のとおりに特定した情報に基づいて、応募者装置300によって受け付けられた募集案件が、応募者の指定する会員グループによる応募の許容されている案件であるか否かを判定する。換言すると、判定部145Aは、会員グループによる応募を許可するか否かを判定する。

[0277] たとえば、判定部145Aは、会員グループ内の会員の一人が、募集案件に対応する非開示企業IDリストに掲載されている企業に所属する場合、会員グループによる応募を許可しない。あるいは、判定部145Aは、募集案件の開示レベルが「コミュニティ内」であるにも関わらず、会員グループ内の会員の一人が、コミュニティ外の企業に所属する場合、会員グループによる応募を許可しない。

[0278] 判定部145Aは、判定結果を応募者装置300に返信する。図27には、判定部145Aによって会員グループによる応募が許可された場合の流れが示されている。判定部145Aによって会員グループによる応募が許可された場合、応募者装置300は、会員グループによる応募を受け付ける（ス

テップS 8 A)。たとえば、応募者装置300は、ステップS 7 Aで受け付けた応募が許容されることを示す画面と、応募をするか否かを確認する画面とをディスプレイ305に表示する。応募者は、マウスおよびキーボードなどの操作部306を用いて、応募を選択する。

[0279] 応募者装置300は、会員グループによる応募を受け付けた場合（ステップS 8 A）、応募情報をシェアリングサーバ100へ送信する。シェアリングサーバ100の申請部146は応募情報を取得する。以降の処理の内容は、図11を用いて説明した内容と同様である。ただし、申請部146は、会員グループに所属する各会員の上司に対して、応募情報を送信する。このため、ステップS 9の応募承認の処理は、会員グループに所属する各会員の上司毎に実行される。従って、承認部147は、部下の応募を承認することを示す承認情報、または部下の応募を却下することを示す否かを示す却下情報を複数名の上司から受信する。

[0280] 承認部147は、会員グループに所属する各会員の上司の全員から承認情報が得られた場合に限り、応募者の応募を受け付ける。応募者の応募を受け付けた承認部147は、募集者装置200に応募情報を送信する。既に、図11を用いて説明したとおり、集者装置200は、応募内容をディスプレイ205に表示する（ステップS 10）。募集者は、募集者装置200に採用または不採用の判断の結果を入力する。募集者装置200は、入力された結果を受け付け（ステップS 11）、受け付けた採用または不採用の結果をシェアリングサーバ100の通知部148へ送信する。

[0281] 通知部148は、応募者の応募者装置300、および上司（管理者）の応募者装置300へ応募結果（採用または不採用の結果）送信する。ただし、通知部148は、会員グループに所属する各会員の上司へ応募結果を送信する。

[0282] 応募者の応募者装置300、および会員グループに所属する各会員の上司の応募者装置300は、応募結果をディスプレイ305に表示する（ステップS 12、ステップS 13）。応募者および会員グループに所属する各会員

の上司は、ディスプレイ 305 の表示を見ることによって、応募結果を確認する。

[0283] 図 28 は、変形例 2 に関わる募集案件を募集案件データベース 124A に登録する手順を説明するための図である。図 28 には、図 13 と比較して、募集者装置 200 に入力される業務情報に募集形態が追加されている。

[0284] 変形例 2 においては、募集案件を登録する募集者は、募集案件の業務情報および開示情報を募集者装置 200 に入力する際、業務情報に募集案件の募集形態を含めることができる。募集形態は、グループおよび個人のいずれかである。シェアリングサーバ 100 の案件登録部 144 は、募集者が選択した募集形態を含めて募集案件を募集案件データベース 124A に登録する（ステップ S1442）。案件登録部 144 は、募集者が募集形態を選択していない場合、募集形態が限定されないことを示す情報を募集案件データベース 124A に登録する。図 28 に示されるその他の内容は、既に説明した図 13 と同様であるため、ここでは、その説明を繰り返さない。

[0285] 以上、説明したように、変形例 2 によれば、複数名の会員がグループで募集案件に応募することができる。しかも、変形例 2 によれば、募集者の所属する企業およびコミュニティと、会員グループの各メンバーの所属する企業およびコミュニティとの関係に基づいて、会員グループの応募を認めるか否かが判定される。このため、応募者と競合関係にある組織に所属する会員を含む会員グループが、その応募者の募集案件を受注してしまうことを防止できる。

[0286] 以上のとおりに説明した会員グループ応募機能をマッチングシステム 1 に追加することにより、受注側が募集案件を閲覧し、会員グループで募集案件に応募をすることができるシステムを提供することができる。これにより、マッチングシステム 1 は、チームで取り組むことが望ましいような大規模な業務の受発注を取り扱うことが可能となる。

[0287] [態様]

以下、本開示の態様を列挙する。

- [0288] (第1項) 第1項に記載の評価システムは、業務に応募した受注者を評価する評価システムであって、第1グループに所属する1以上の評価者によって操作される第1評価者装置と、第1評価者装置と通信し、データベースにアクセス可能なコンピュータ装置とを備え、第1評価者装置は、受注者に対する評価の入力を受け付け、受け付けた評価をコンピュータ装置へ送信し、コンピュータ装置は、第1評価者装置から受信した評価に基づいた第1評価情報を受注者別にデータベースに登録し、コンピュータ装置は、第1グループに所属する者であることを識別可能な識別情報により確立された第1通信において閲覧要求を受信した場合、第1通信において閲覧要求を送信した送信元へ、第1評価情報を送信する。
- [0289] (第2項) 第2項に記載の評価システムは、第1項に記載の評価システムにおいて、第1グループと異なる第2グループに所属する1以上の評価者によって操作される第2評価者装置をさらに備え、第2評価者装置は、受注者に対する評価の入力を受け付け、受け付けた評価をコンピュータ装置へ送信し、コンピュータ装置は、第2評価者装置から受信した評価に基づいた第2評価情報を受注者別にデータベースに登録し、コンピュータ装置は、第2グループに所属する者であることを識別可能な識別情報により確立された第2通信において閲覧要求を受信した場合、第2通信において閲覧要求を送信した送信元へ、第2評価情報を送信する。
- [0290] (第3項) 第3項に記載の評価システムは、第2項に記載の評価システムにおいて、第1企業によって第1グループが構成され、第1企業と異なる第2企業によって第2グループが構成される。
- [0291] (第4項) 第4項に記載の評価システムは、第2項に記載の評価システムにおいて、第1グループは、第1企業の第1部門により構成され、第2グループは、第1企業の第2部門により構成される。
- [0292] (第5項) 第5項に記載の評価システムは、第1項～第4項のいずれか1項に記載の評価システムにおいて、コンピュータ装置は、第1グループに所属する複数の評価者から所定の受注者に対する評価を受信した場合、複数の

評価者による所定の受注者に対する評価の平均値を算出し、コンピュータ装置は、第1通信において閲覧要求を送信した送信元へ、平均値を所定の受注者の第1評価情報として送信する。

[0293] (第6項) 第6項に記載の評価システムは、第1項～第3項のいずれか1項に記載の評価システムにおいて、第1グループは、第1分割グループに所属する1以上の評価者と、第1分割グループと異なる第2分割グループに所属する1以上の評価者とを含み、コンピュータ装置は、第1分割グループに所属する複数の評価者から受信した所定の受注者に対する評価に基づいて、所定の受注者に対する評価の平均値である第1平均値を算出し、コンピュータ装置は、第2分割グループに所属する複数の評価者から受信した所定の受注者に対する評価に基づいて、所定の受注者に対する評価の平均値である第2平均値を算出し、コンピュータ装置は、第1グループに所属する複数の評価者から受信した所定の受注者に対する評価に基づいて、所定の受注者に対する評価の平均値である第3平均値を算出し、コンピュータ装置は、第1分割グループに所属する者であることを識別可能な識別情報により確立された第3通信において閲覧要求を受信した場合、第3通信において閲覧要求を送信した送信元へ、第1平均値および第3平均値を所定の受注者の第1評価情報として送信し、コンピュータ装置は、第2分割グループに所属する者であることを識別可能な識別情報により確立された第4通信において閲覧要求を受信した場合、第4通信において閲覧要求を送信した送信元へ、第2平均値および第3平均値を所定の受注者の第1評価情報として送信する。

[0294] (第7項) 第7項に記載の評価システムは、第1項～第6項のいずれか1項に記載の評価システムにおいて、データベースには、受注者のリストが登録されており、第1評価者装置は、リストを検索する操作を受け付けた場合、コンピュータ装置へ検索要求を送信し、コンピュータ装置は、検索要求を受信した場合、第1通信において閲覧要求を送信した送信元へ、第1評価情報により特定される評価の高さが基準を満たさない受注者をリストから除外した検索結果を送信する。

- [0295] (第8項) 第8項に記載の評価システムは、第2項または第3項に記載の評価システムにおいて、データベースには、複数の業務情報が応募者への開示範囲を示す開示情報とともに登録されており、評価システムは、第2グループに所属する応募者によって操作される応募者装置をさらに備え、コンピュータ装置は、データベースに登録されている複数の業務情報のうち、第2グループに所属する応募者への開示が許容されている業務情報を開示情報に基づいて判定し、第2グループに所属する応募者への開示が許容されている業務情報を応募者装置へ提供する。
- [0296] (第9項) 第9項に記載の評価者装置は、第1グループに所属する1以上の評価者によって操作される評価者装置であって、業務に応募した受注者に対する評価を入力する操作を受け付けるインターフェイスと、閲覧要求を受け付ける受付部と、ディスプレイと、インターフェイスによって受け付けられた評価と、受付部によって受け付けられた閲覧要求とを、データベースにアクセス可能なコンピュータ装置に送信するプロセッサとを備え、プロセッサは、閲覧要求があった場合、ディスプレイに、第1グループに所属する1以上の評価者による評価を表示する。
- [0297] (第10項) 第10項に記載の方法は、業務に応募した受注者を評価する方法であって、第1グループに所属する1以上の評価者によって操作される第1評価者装置と通信するステップと、第1評価者装置から、受注者に対する評価を受信するステップと、第1評価者装置から受信した評価に基づいた第1評価情報をデータベースに登録するステップと、第1グループに所属する者であることを識別可能な識別情報により確立された第1通信において閲覧要求を受信した場合、第1通信において閲覧要求を送信した送信元へ、第1評価情報を送信するステップとを含む。
- [0298] 今回開示された実施の形態は、すべての点で例示であって制限的なものではないと考えられるべきである。本発明の範囲は、上記した実施の形態の説明ではなくて請求の範囲によって示され、請求の範囲と均等の意味および範囲内でのすべての変更が含まれることが意図される。

符号の説明

[0299] 1 マッチングシステム、50 インターネット、100 シェアリングサーバ、101 プロセッサ、102 メモリ、103 ストレージ、104 通信インターフェイス、120 データベース(DB)、121 企業データベース(企業DB)、122, 122A 会員データベース(会員DB)、123 コミュニティデータベース(コミュニティDB)、124, 124A 募集案件データベース(募集案件DB)、125 副業データベース(副業DB)、126 評価入力データベース(評価入力DB)、127 評価サマリデータベース(評価サマリDB)、127A, 127B データ群、128 会員グループデータベース(会員グループDB)、140 コミュニティ登録部、141 企業登録部、142 会員登録部、143 会員検索部、144 案件登録部、145 案件抽出部、145A 会員グループ情報取得部、146 申請部、147 承認部、148 通知部、149 実績受付部、150 実績出力部、151 評価受付部、152 評価出力部、161 逆オファー依頼部、162 逆オファー承認依頼部、163 逆オファー依頼受託通知部、200, 200A, 200B, 200C 募集者装置、201 プロセッサ、202 メモリ、203 通信インターフェイス、204 入出力インターフェイス、205 ディスプレイ、206 操作部、206A キーボード、206B マウス、207 画面、300, 300A, 300B, 300C 応募者装置、301 プロセッサ、302 メモリ、303 通信インターフェイス、304 入出力インターフェイス、305 ディスプレイ、306 操作部、306A キーボード、306B マウス、307A~307C タブ、401, 402 表。

請求の範囲

- [請求項1] 業務に応募した受注者を評価する評価システムであって、
第1グループに所属する1以上の評価者によって操作される第1評価者装置と、
前記第1評価者装置と通信し、データベースにアクセス可能なコンピュータ装置とを備え、
前記第1評価者装置は、受注者に対する評価の入力を受け付け、受け付けた評価を前記コンピュータ装置へ送信し、
前記コンピュータ装置は、前記第1評価者装置から受信した評価に基づいた第1評価情報を受注者別に前記データベースに登録し、
前記コンピュータ装置は、前記第1グループに所属する者であることを識別可能な識別情報により確立された第1通信において閲覧要求を受信した場合、前記第1通信において前記閲覧要求を送信した送信元へ、前記第1評価情報を送信する、評価システム。
- [請求項2] 前記第1グループと異なる第2グループに所属する1以上の評価者によって操作される第2評価者装置をさらに備え、
前記第2評価者装置は、受注者に対する評価の入力を受け付け、受け付けた評価を前記コンピュータ装置へ送信し、
前記コンピュータ装置は、前記第2評価者装置から受信した評価に基づいた第2評価情報を受注者別に前記データベースに登録し、
前記コンピュータ装置は、前記第2グループに所属する者であることを識別可能な識別情報により確立された第2通信において閲覧要求を受信した場合、前記第2通信において前記閲覧要求を送信した送信元へ、前記第2評価情報を送信する、請求項1に記載の評価システム。
- [請求項3] 第1企業によって前記第1グループが構成され、前記第1企業と異なる第2企業によって前記第2グループが構成される、請求項2に記載の評価システム。

[請求項4] 前記第1グループは、第1企業の第1部門により構成され、前記第2グループは、前記第1企業の第2部門により構成される、請求項2に記載の評価システム。

[請求項5] 前記コンピュータ装置は、前記第1グループに所属する複数の評価者から所定の受注者に対する評価を受信した場合、前記複数の評価者による前記所定の受注者に対する評価の平均値を算出し、

前記コンピュータ装置は、前記第1通信において前記閲覧要求を送信した送信元へ、前記平均値を前記所定の受注者の前記第1評価情報として送信する、請求項1～請求項4のいずれか1項に記載の評価システム。

[請求項6] 前記第1グループは、第1分割グループに所属する1以上の評価者と、前記第1分割グループと異なる第2分割グループに所属する1以上の評価者とを含み、

前記コンピュータ装置は、前記第1分割グループに所属する複数の評価者から受信した所定の受注者に対する評価に基づいて、前記所定の受注者に対する評価の平均値である第1平均値を算出し、

前記コンピュータ装置は、前記第2分割グループに所属する複数の評価者から受信した前記所定の受注者に対する評価に基づいて、前記所定の受注者に対する評価の平均値である第2平均値を算出し、

前記コンピュータ装置は、前記第1グループに所属する複数の評価者から受信した前記所定の受注者に対する評価に基づいて、前記所定の受注者に対する評価の平均値である第3平均値を算出し、

前記コンピュータ装置は、前記第1分割グループに所属する者であることを識別可能な識別情報により確立された第3通信において閲覧要求を受信した場合、前記第3通信において前記閲覧要求を送信した送信元へ、前記第1平均値および前記第3平均値を前記所定の受注者の前記第1評価情報として送信し、

前記コンピュータ装置は、前記第2分割グループに所属する者であ

ることを識別可能な識別情報により確立された第4通信において閲覧要求を受信した場合、前記第4通信において前記閲覧要求を送信した送信元へ、前記第2平均値および前記第3平均値を前記所定の受注者の前記第1評価情報として送信する、請求項1～請求項3のいずれか1項に記載の評価システム。

[請求項7]

前記データベースには、受注者のリストが登録されており、

前記第1評価者装置は、前記リストを検索する操作を受け付けた場合、前記コンピュータ装置へ検索要求を送信し、

前記コンピュータ装置は、前記検索要求を受信した場合、前記第1通信において前記閲覧要求を送信した送信元へ、前記第1評価情報により特定される評価の高さが基準を満たさない受注者を前記リストから除外した検索結果を送信する、請求項1～請求項6のいずれか1項に記載の評価システム。

[請求項8]

前記データベースには、複数の業務情報が応募者への開示範囲を示す開示情報とともに登録されており、

前記評価システムは、前記第2グループに所属する応募者によって操作される応募者装置をさらに備え、

前記コンピュータ装置は、前記データベースに登録されている前記複数の業務情報のうち、前記第2グループに所属する応募者への開示が許容されている業務情報を前記開示情報に基づいて判定し、前記第2グループに所属する応募者への開示が許容されている業務情報を前記応募者装置へ提供する、請求項2または請求項3に記載の評価システム。

[請求項9]

第1グループに所属する1以上の評価者によって操作される評価者装置であって、

業務に応募した受注者に対する評価を入力する操作を受け付けるインターフェイスと、

閲覧要求を受け付ける受付部と、

ディスプレイと、

前記インターフェイスによって受け付けられた評価と、前記受付部によって受け付けられた閲覧要求とを、データベースにアクセス可能なコンピュータ装置に送信するプロセッサとを備え、

前記プロセッサは、閲覧要求があった場合、前記ディスプレイに、前記第1グループに所属する1以上の評価者による評価を表示する、評価者装置。

[請求項10]

業務に応募した受注者を評価する方法であって、

第1グループに所属する1以上の評価者によって操作される第1評価者装置と通信するステップと、

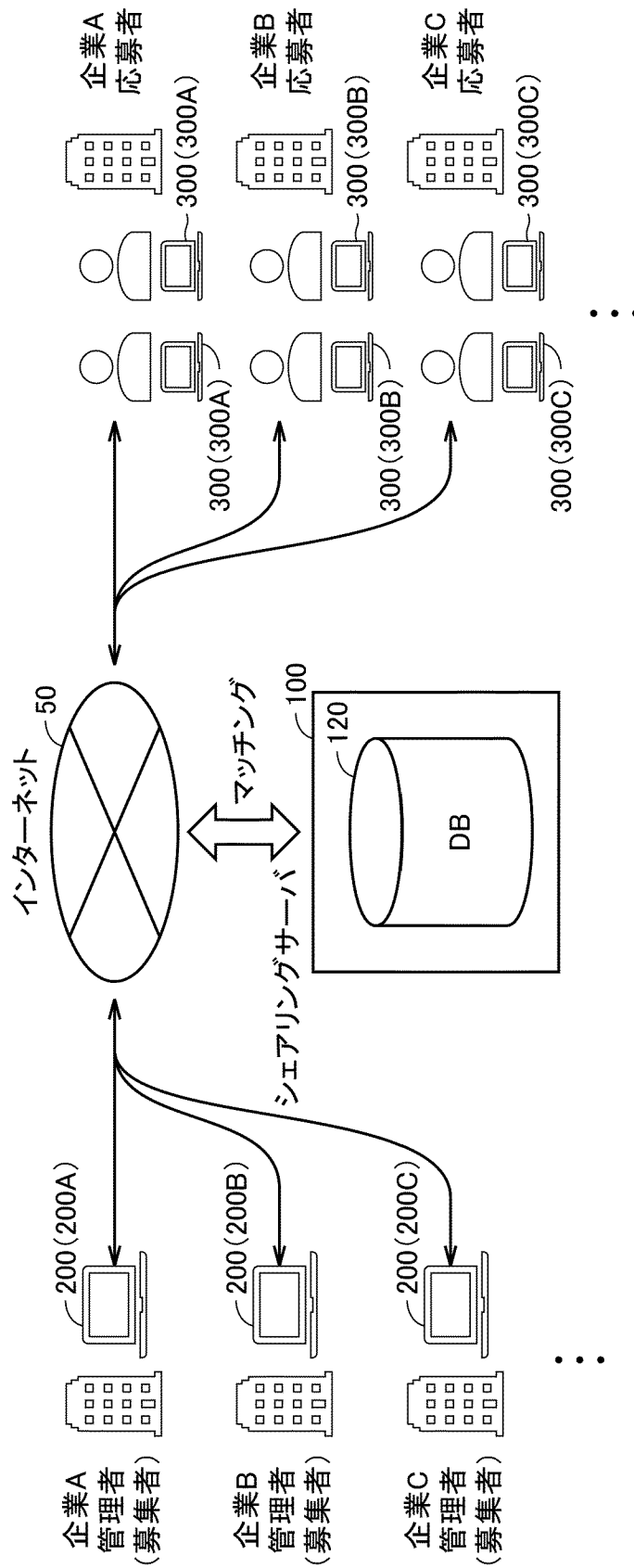
前記第1評価者装置から、受注者に対する評価を受信するステップと、

前記第1評価者装置から受信した評価に基づいた第1評価情報をデータベースに登録するステップと、

前記第1グループに所属する者であることを識別可能な識別情報により確立された第1通信において閲覧要求を受信した場合、前記第1通信において前記閲覧要求を送信した送信元へ、前記第1評価情報を送信するステップとを含む、方法。

[図1]

1



[図2]

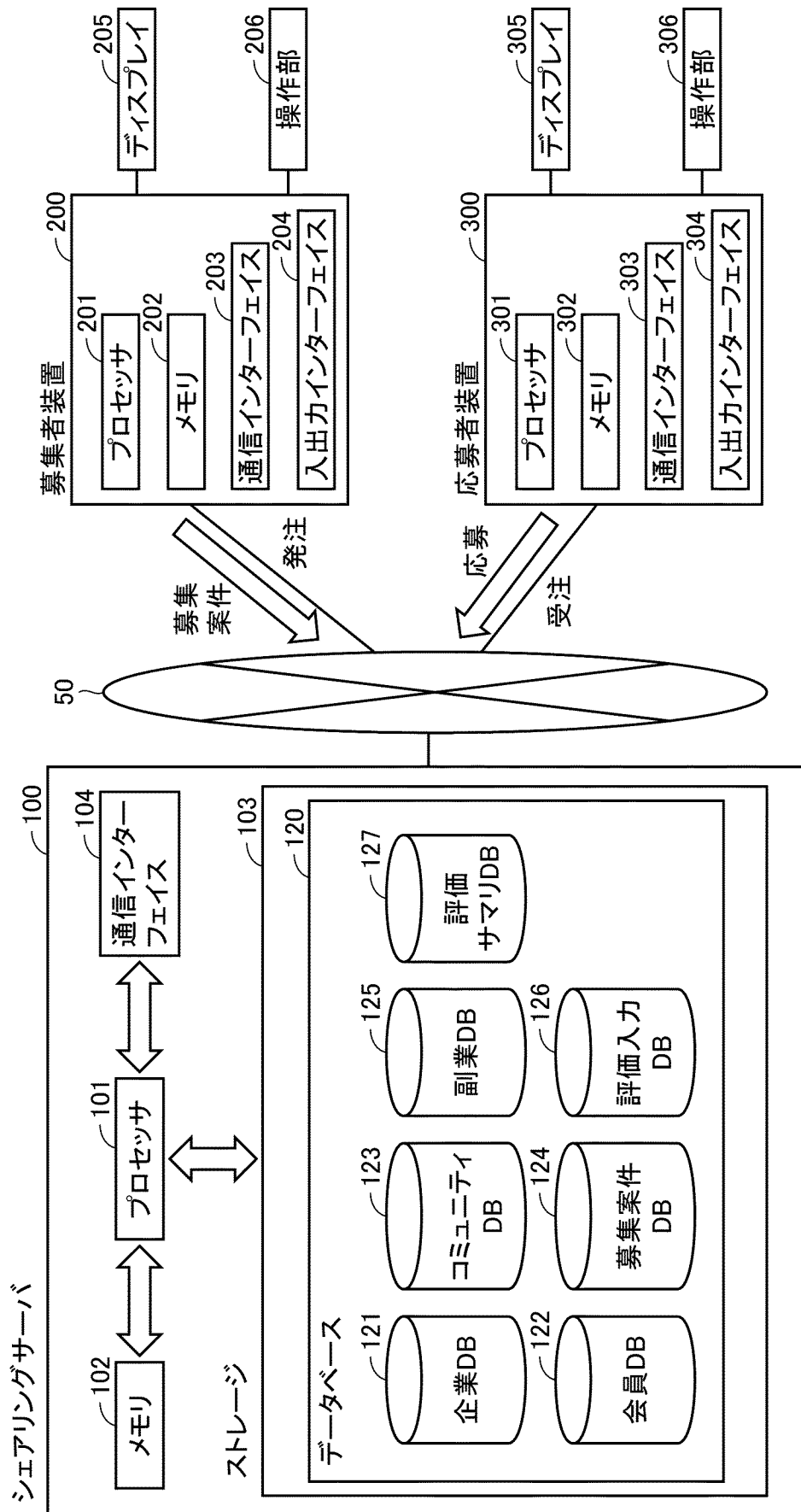


FIG.2

[図3]

FIG.3

企業DB

企業ID	企業名	住所	副業上限時間(月)	...
00A	A	京都府長岡京市..	30H	...
00B	B	東京都港区..	45H	...
00C	C	神奈川県横浜市..	45H	...
...	...	...	...	...

121

[図4]

FIG.4

会員DB

会員ID	企業ID	会員名	権限	部門	副業可能時間(月)
P1	00A	AAA	管理者	システム部	20h
P2	00A	BBB	管理者	企画部	30h
P3	00A	CCC	管理者	企画部	20h
P4	00B	DDD	管理者	企画部	15h
P5	00B	EEE	応募者	企画部	32h
P6	00C	FFF	管理者	経理部	15h
P7	00C	GGG	応募者	営業部	20h
...	...	...	...	...	...

122

[図5]

FIG.5

コミュニティDB

コミュニティID	コミュニティ名	所属企業IDリスト	...
01	AAコミュニティ	00A,00B	...
02	BB委員会	00C,00D,00E	...
03	CCグループ	00A,00C	...
...	...	...	...

123

〔図6〕

募集案件DB				124				閲覧可能な企業			
案件ID	登録 企業ID	非開示企業 IDリスト	開示レベル	案件タイトル	想定工数 (人・月)	想定期間	案件内容	企業ID			
001	00A		自社	AA案件の企画	5H	2021/10-2021/12	・・・	00A			
002	00A		コミュニティ内	BBのプログラミング	10H	2021/11-2022/3	・・・	00A,00B,00C			
003	00A	00B	コミュニティ内	CCのUIデザイン	20H	2021/10-2021/12	・・・	00A,00C			
004	00B		コミュニティ内	DDのマーケット調査	20H	2021/10-2021/12	・・・	00A,00B			
005	00A		すべて	EEのパンフレット送付作業	5H	2021/10-2021/10	・・・	すべて			
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・			

[図7]

FIG.7

[図8]

FIG.8

副業DB

125

会員ID	案件ID	月度	副業予定時間	副業実績時間	副業見込時間	進捗率
P2	001	2021/10	5	10	10	100
P2	002	2021/11	10	4	8	50
P2	001	2021/12	5		5	0
P2	002	2021/12	10		10	0
...	...	...	...	...	...	...

評価入力DB

126

被評価者会員ID	評価者会員ID	評価結果	...
P7	P1	4.0	...
P7	P2	5.0	...
P7	P3	5.0	
P7	P4	3.0	...
...	...		...

[図9]

FIG.9

評価サマリDB

被評価者会員ID	被評価者企業ID	評価者企業ID	部門	評価サマリ
P7	00C	00A	全体	4.75
P7	00C	00A	システム部	4.0
P7	00C	00A	企画部	5.0
P7	00C	00B	全体	3.0
P7	00C	00B	企画部	3.0
...	...	...	...	...

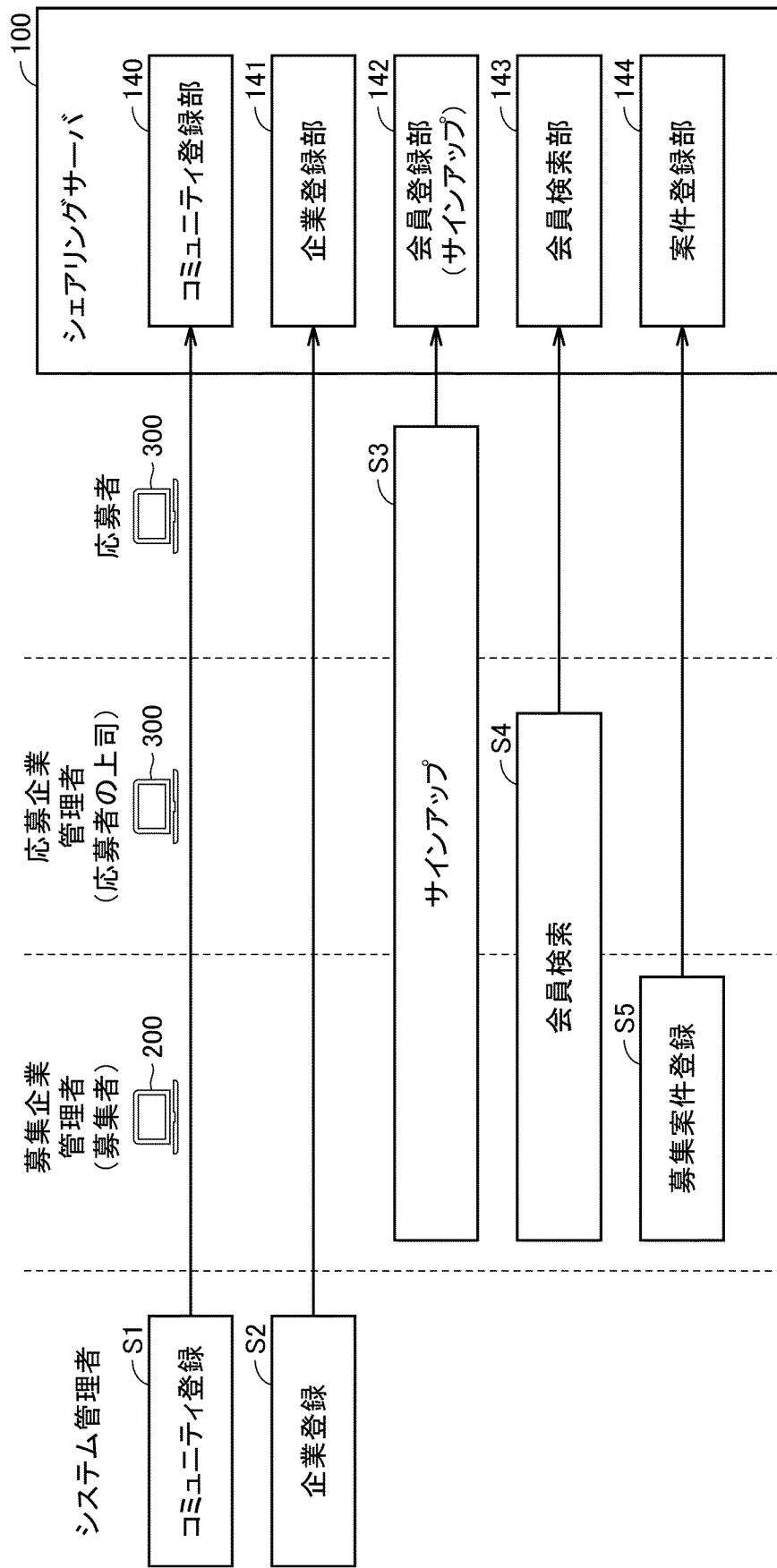
127

127A

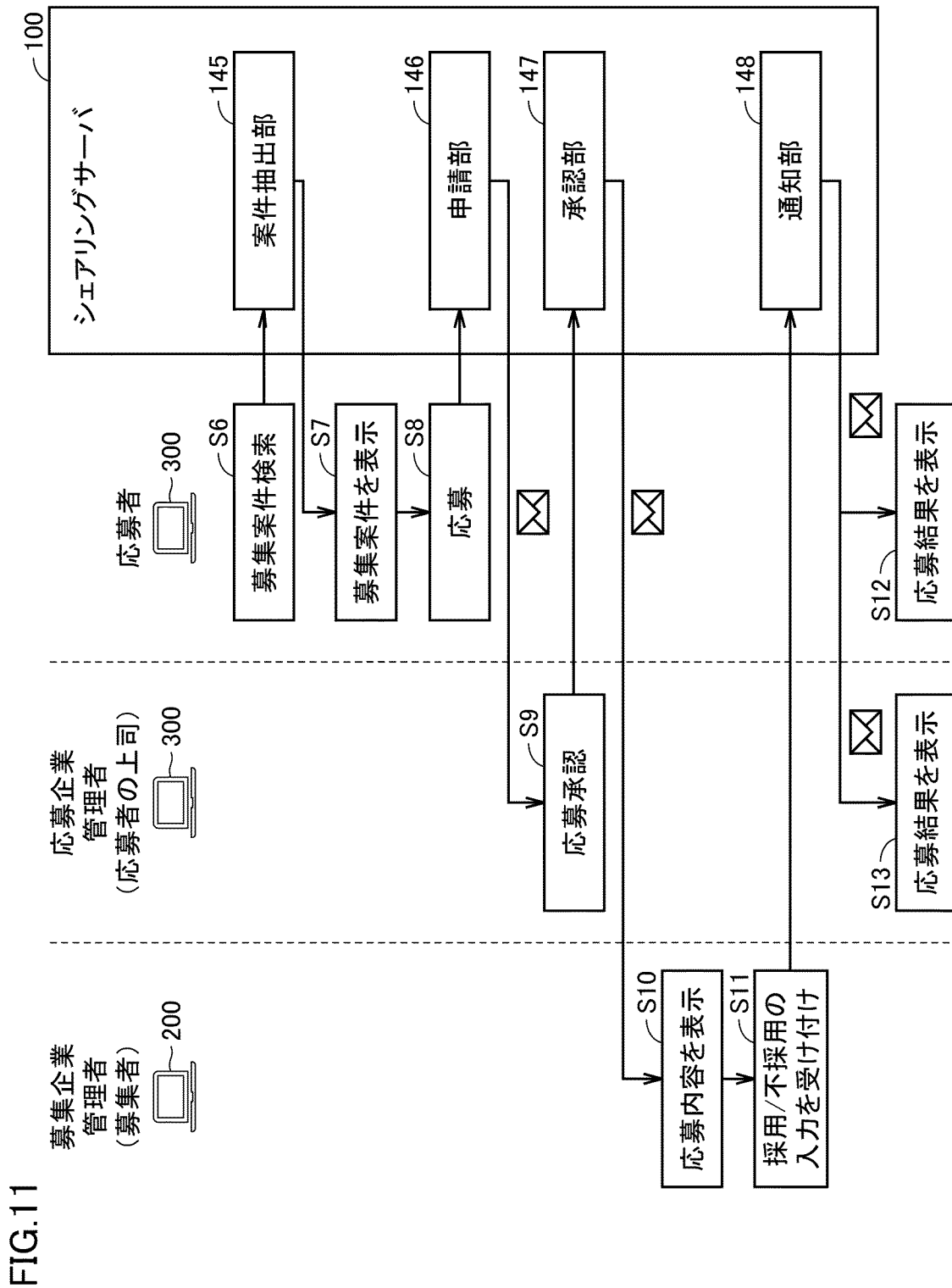
127B

[図10]

FIG.10

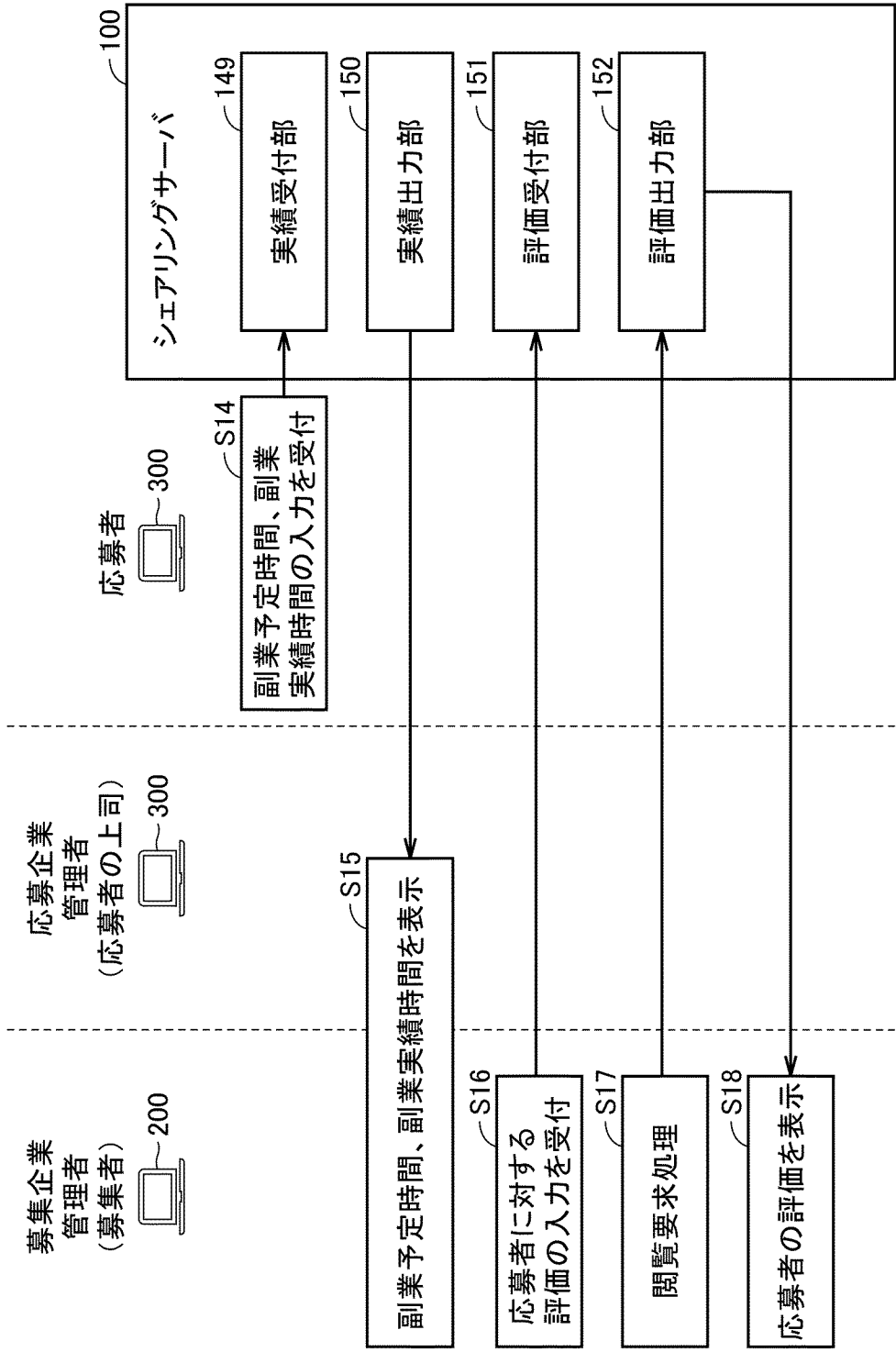


[図11]



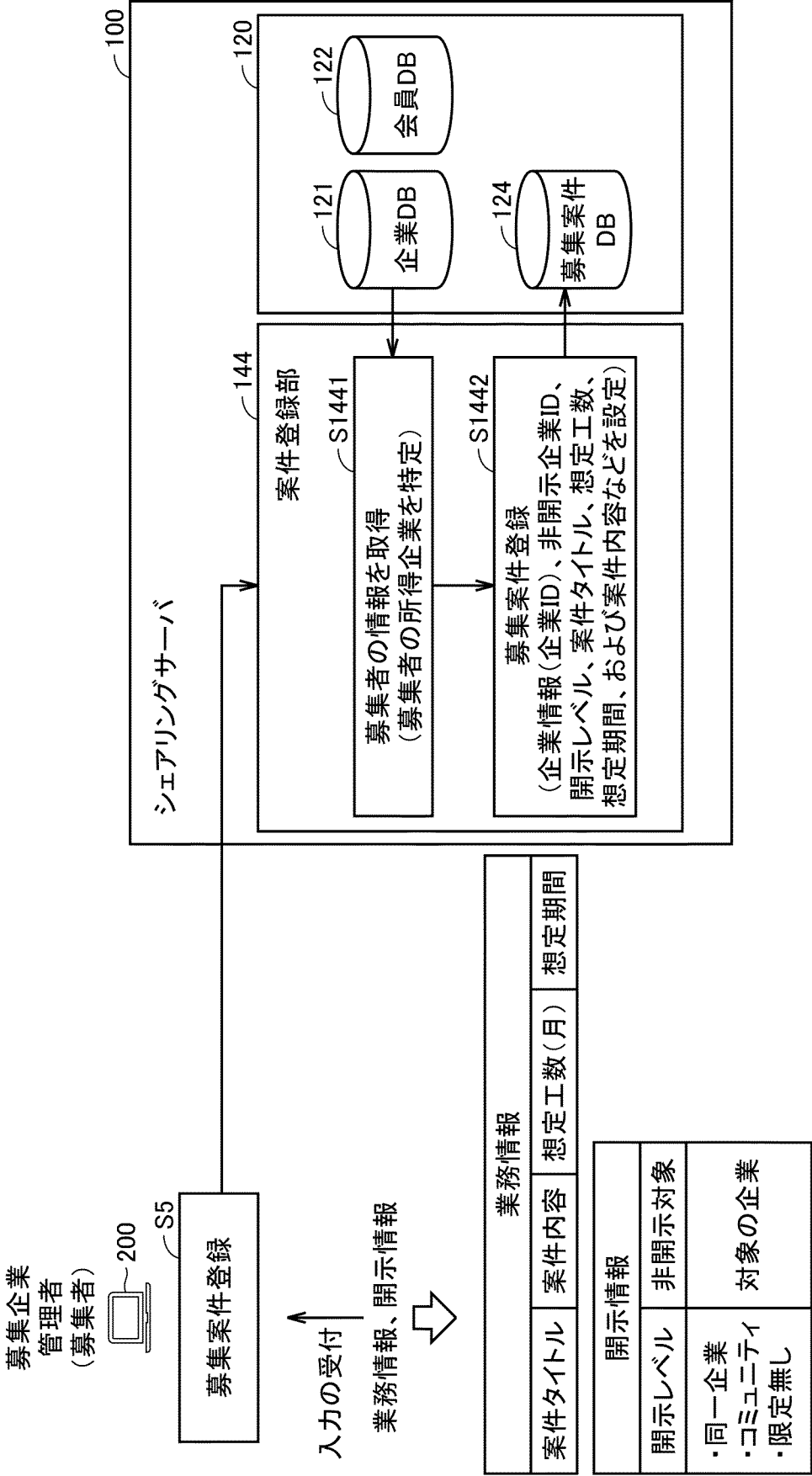
[図12]

FIG.12

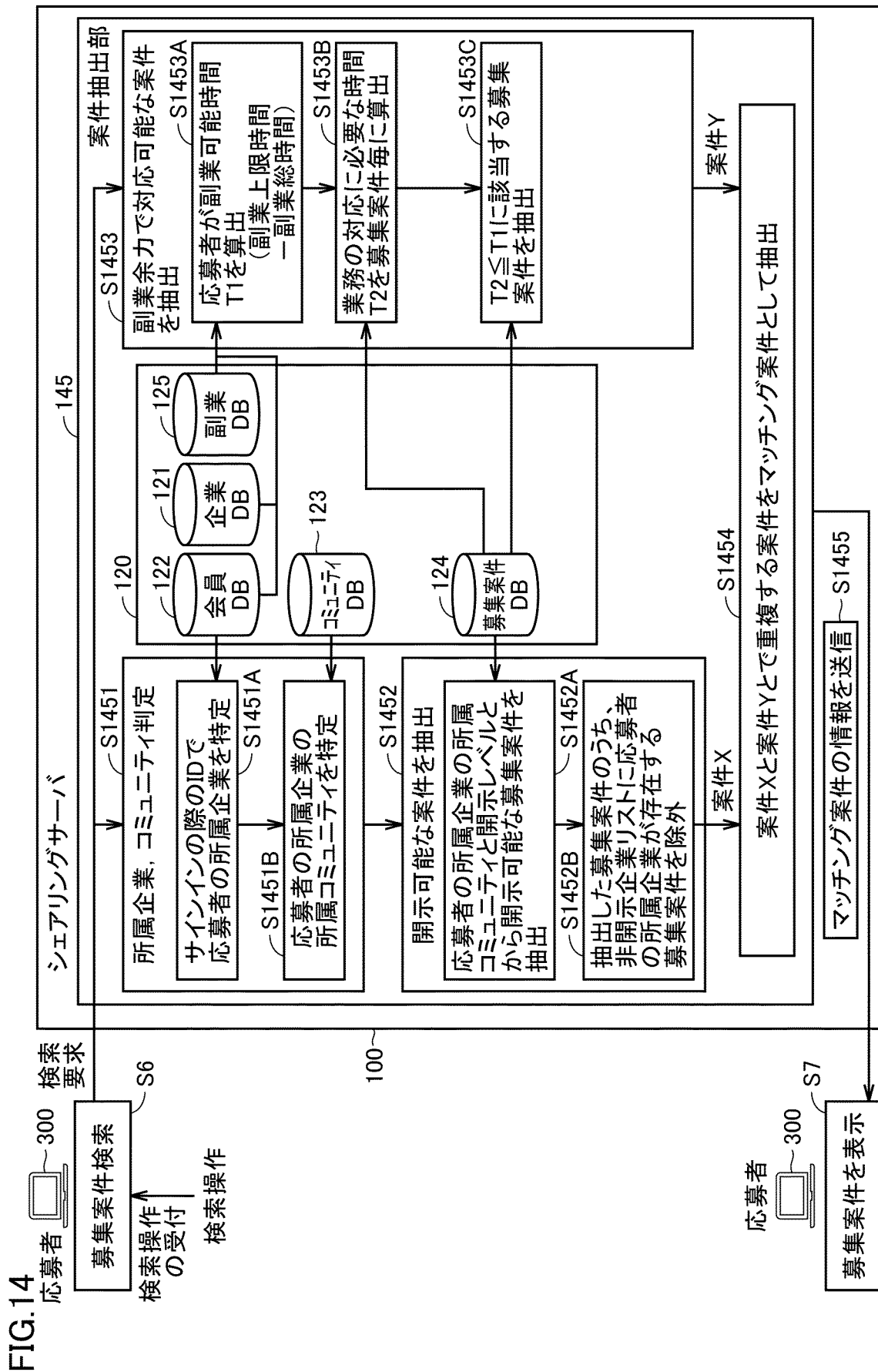


[図13]

FIG.13

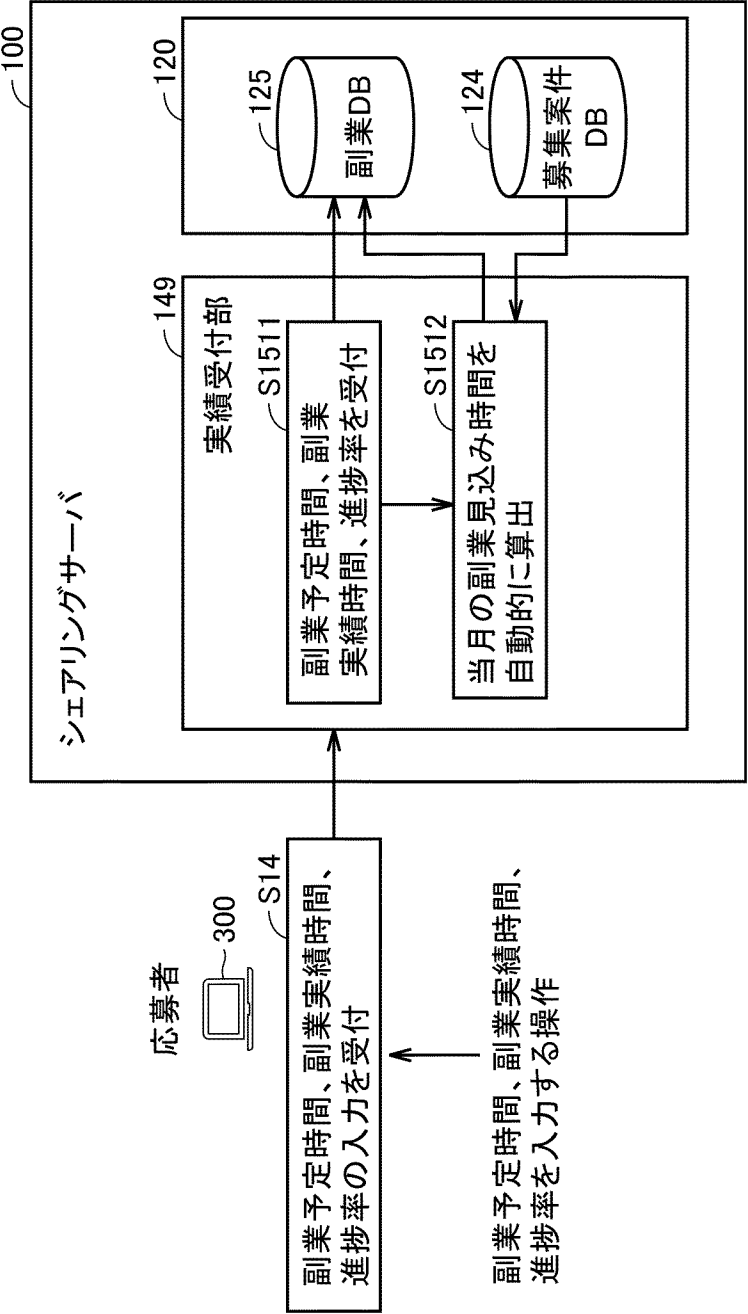


[図14]



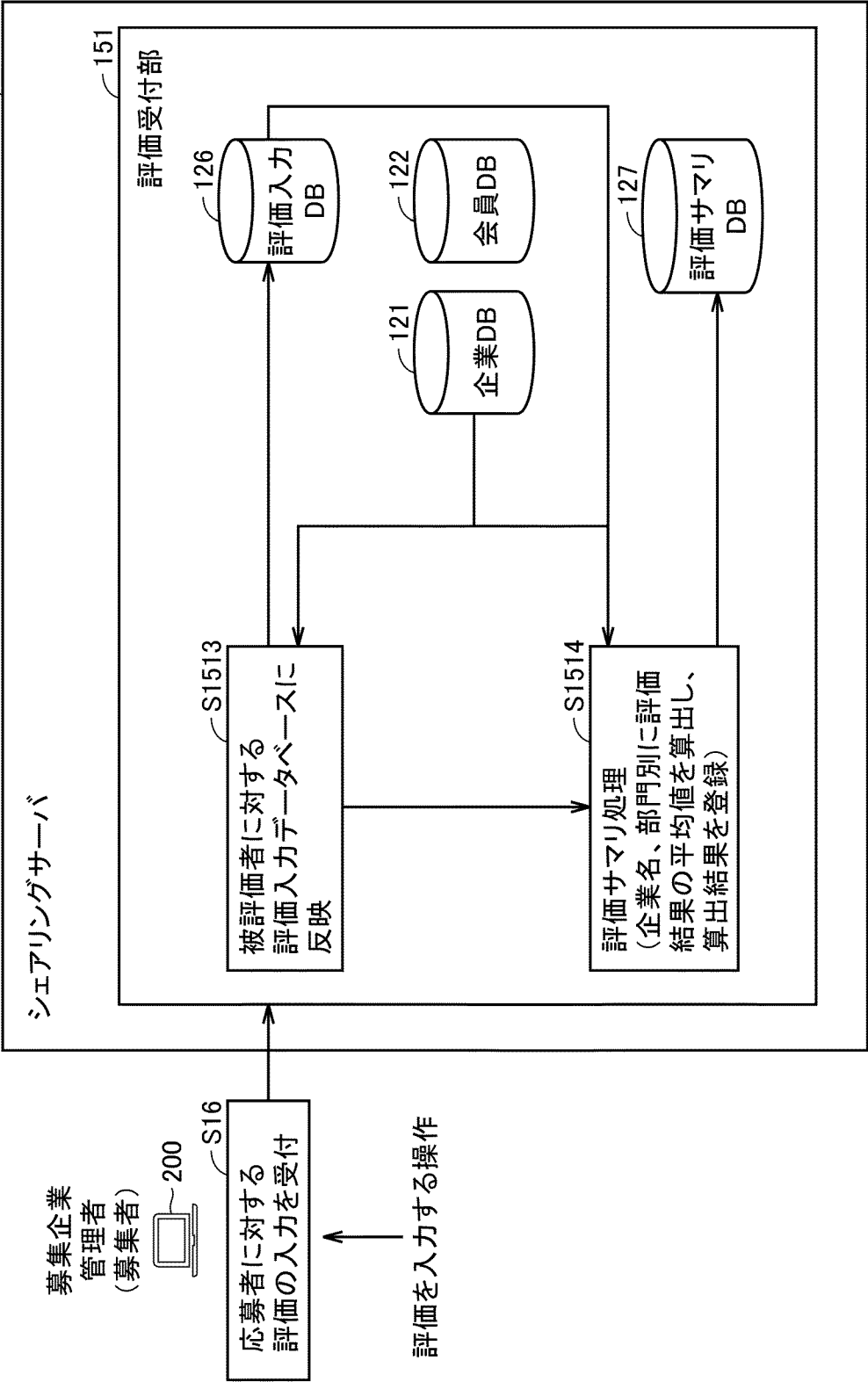
[図15]

FIG.15



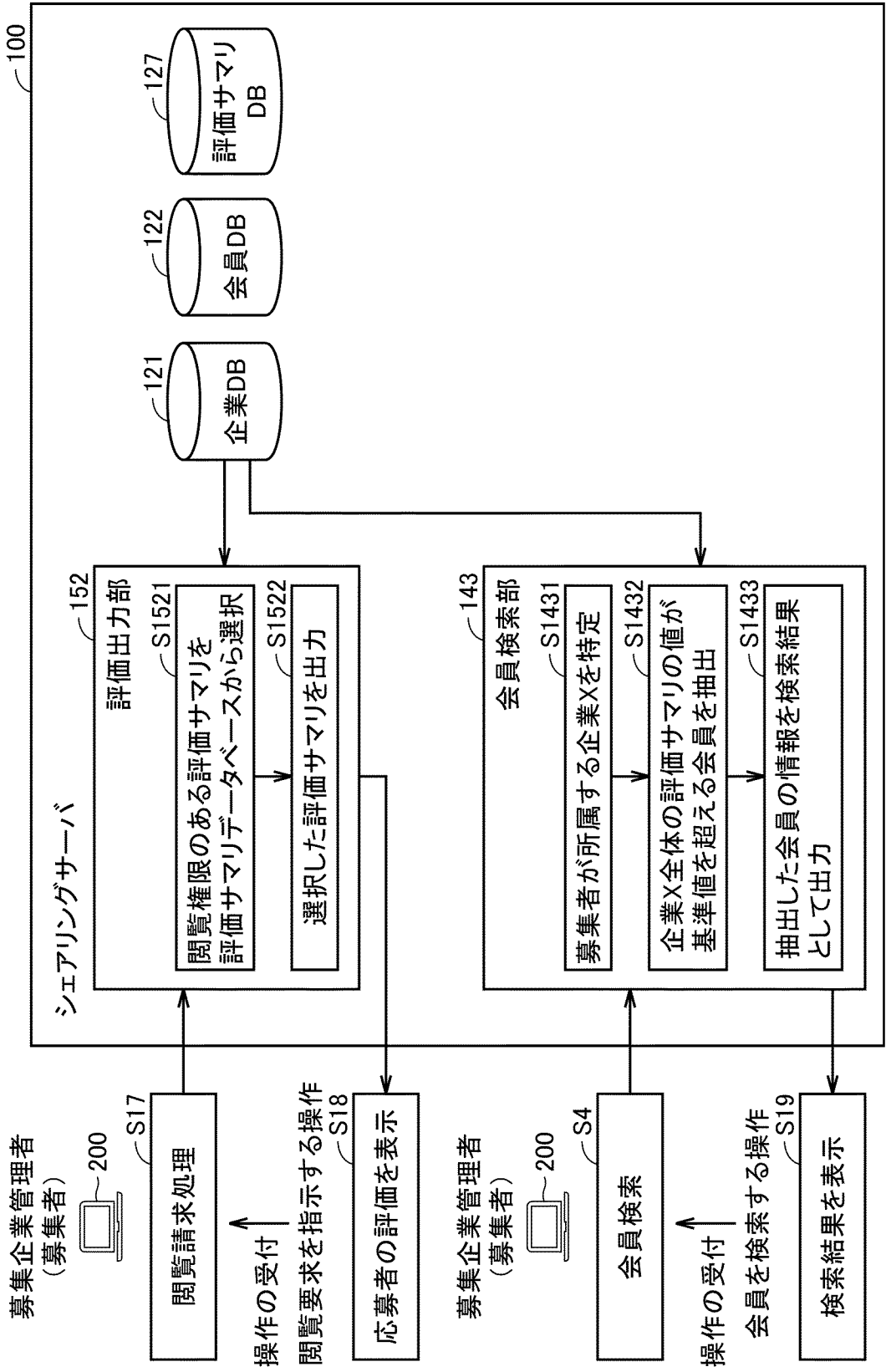
[図16]

FIG.16



[図17]

FIG.17



[図18]

FIG.18

評価サマリデータベースの閲覧可能範囲

評価サマリデータベースの閲覧可能範囲					
127					
被評価者会員ID	被評価者企業ID	評価者企業ID	部門	評価サマリ	閲覧可能範囲
P7	00C	00A	全体	4.75	〇〇製作所(企業ID:00A)すべての会員
P7	00C	00A	システム部	4.0	〇〇製作所システム部(企業ID:00A)の会員
P7	00C	00A	企画部	5.0	〇〇製作所企画部(企業ID:00A)の会員
P7	00C	00B	全体	3.0	△△製薬(企業ID:00B)すべての会員
P7	00C	00B	企画部	3.0	△△製薬(企業ID:00B)企画部の会員
...	...	...	...	...	...

401			
評価サマリ			
閲覧者	企業X全体	企業X第1部門	企業X第2部門
企業X(第1部門)	閲覧可	閲覧可	閲覧不可
企業X(第2部門)	閲覧可	閲覧不可	閲覧可

[図19]

FIG.19

開示レベルに応じて開示範囲が設定される例

402

募集者の所属	開示レベル		
	レベル1	レベル2	レベル3
企業A	企業Aに開示	企業A～Cに開示	企業A～Fに開示
企業B	企業Bに開示	企業A,Bに開示	企業A～Fに開示
企業C	企業Cに開示	企業A,C,D,Eに開示	企業A～Fに開示

レベル1: 募集企業と同一企業 (応募企業ID = 募集企業ID)

レベル2: 募集企業とコミュニティ関係にある企業

レベル3: 開示範囲を限定せず

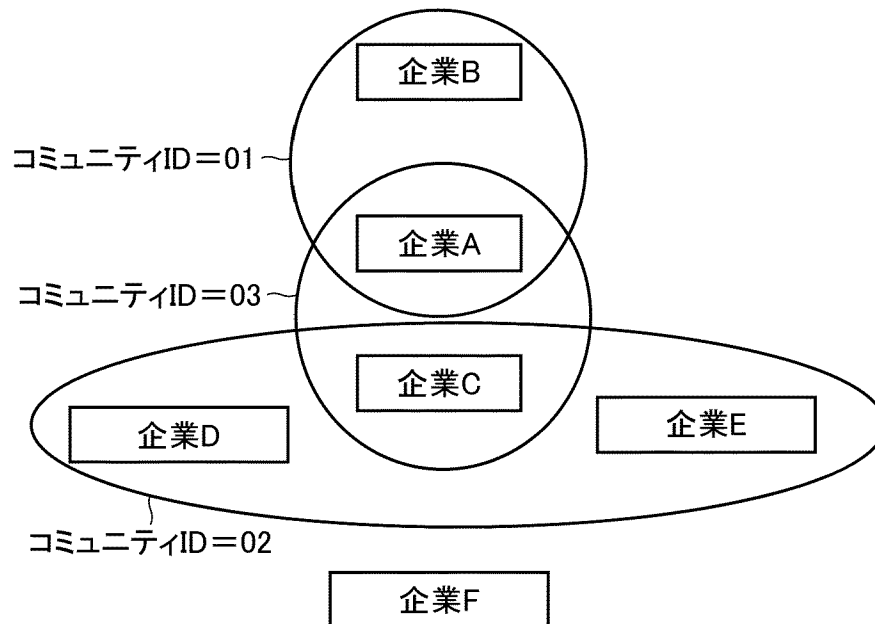


FIG.20

[図20]

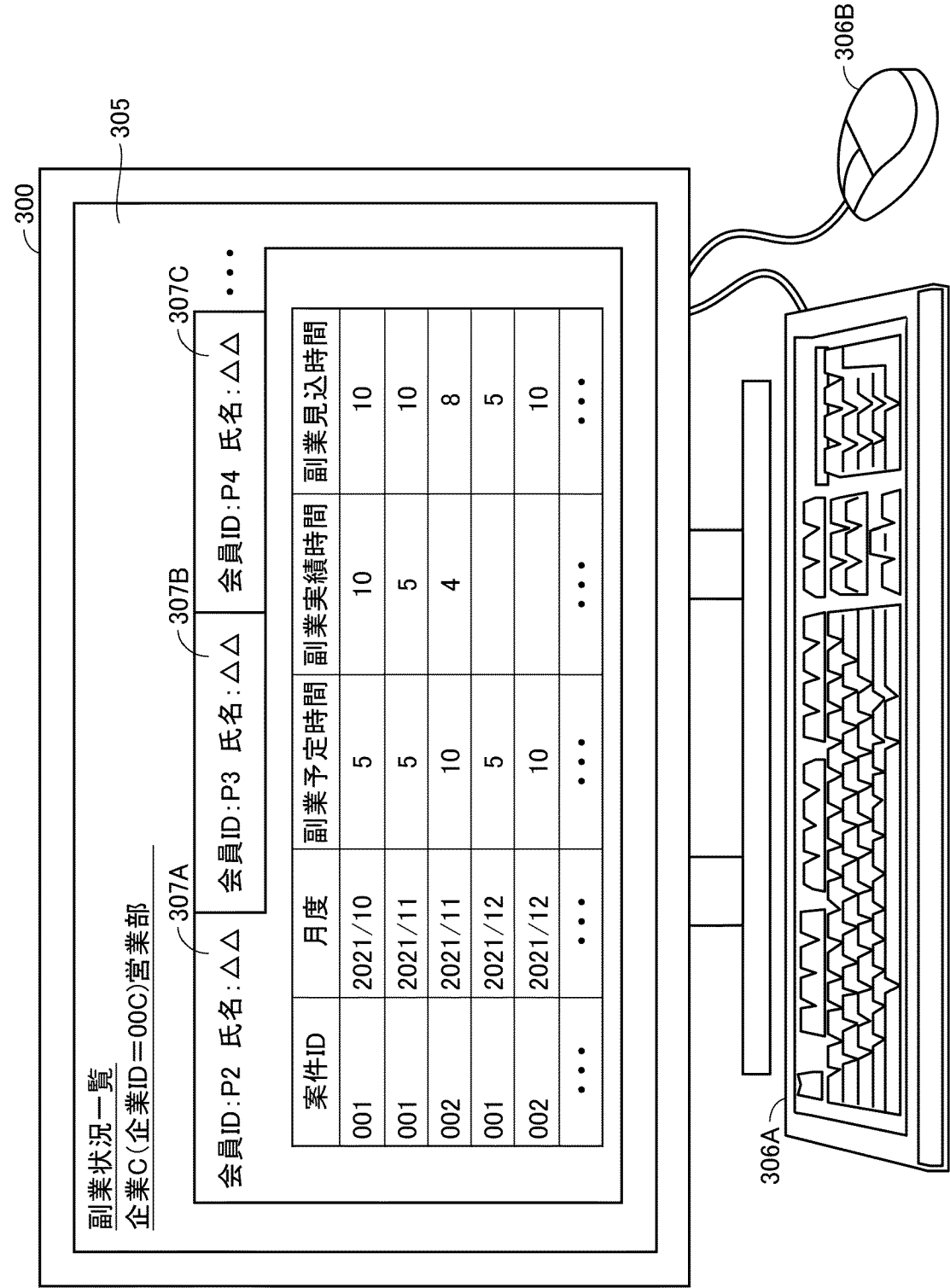


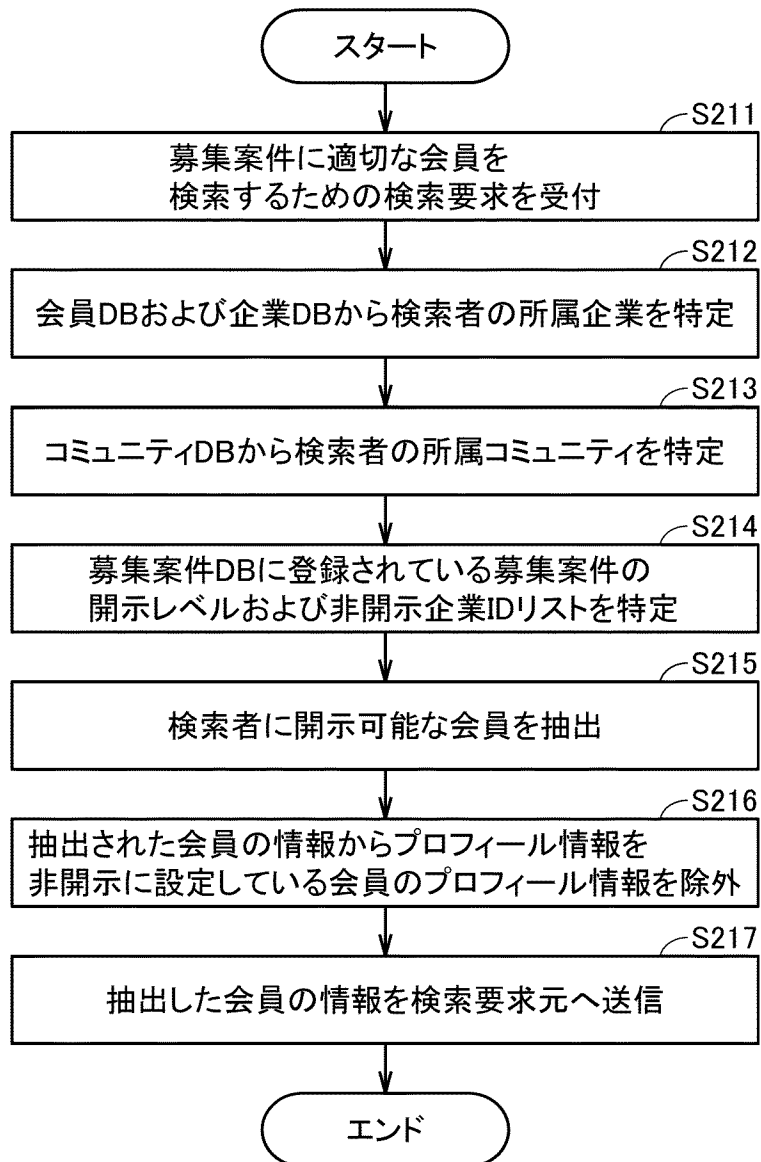
FIG. 22

会員DB		122A				
会員ID	企業ID	会員名	権限	部門	副業可能時間(月)	プロフィール
P1	00A	AAA	管理者	システム部	20h	△△△
P2	00A	BBB	管理者	企画部	30h	△△△
P3	00A	CCC	管理者	企画部	20h	△△△
P4	00B	DDD	管理者	企画部	15h	△△△
P5	00B	EEE	応募者	企画部	32h	△△△
P6	00C	FFF	管理者	経理部	15h	△△△
P7	00C	GGG	応募者	営業部	20h	△△△
...	...	...	...	...	...	...

[図23]

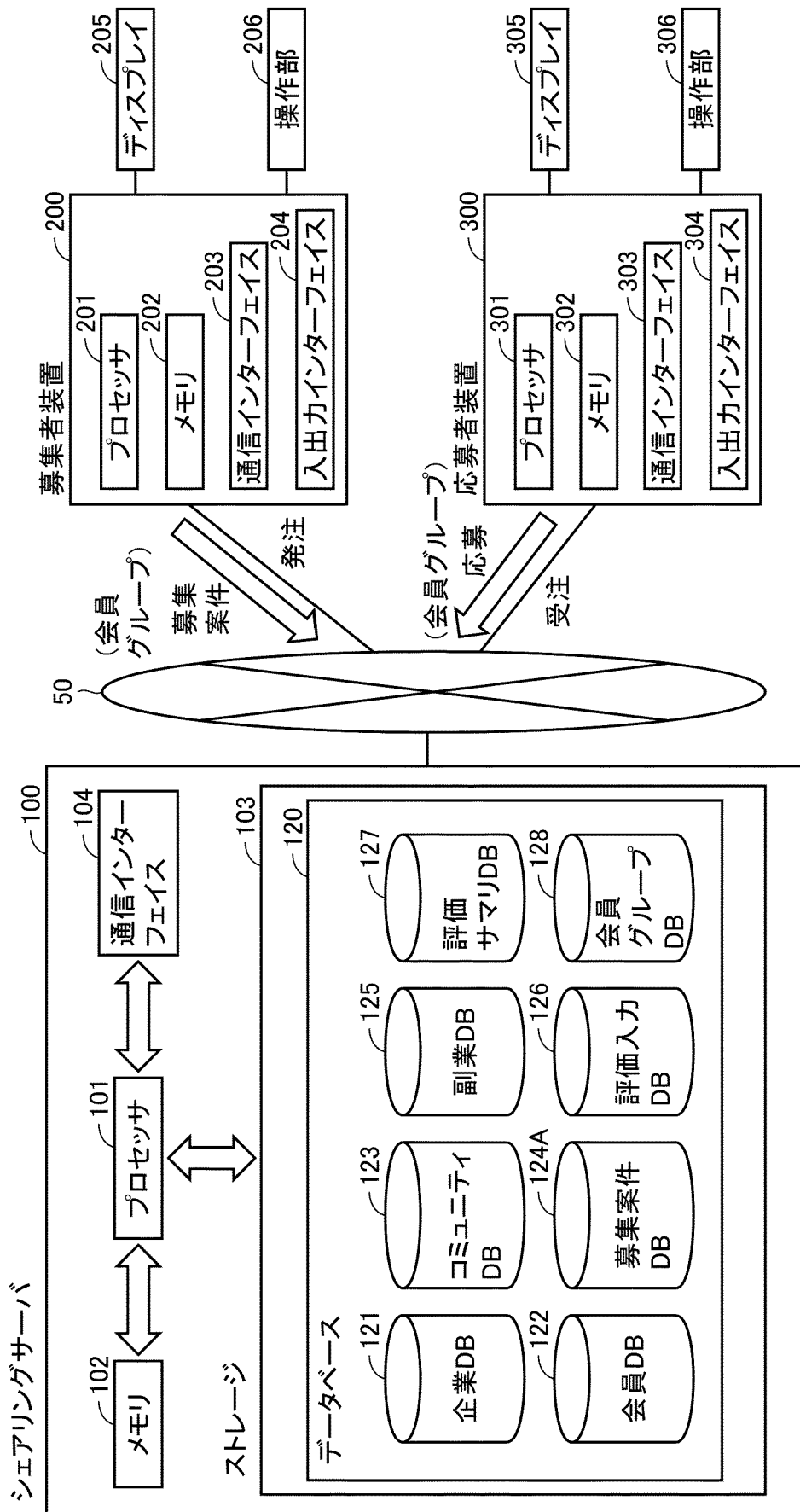
FIG.23

(逆オファー会員検索処理)



[図24]

FIG.24



[図25]

FIG.25

会員グループDB

128

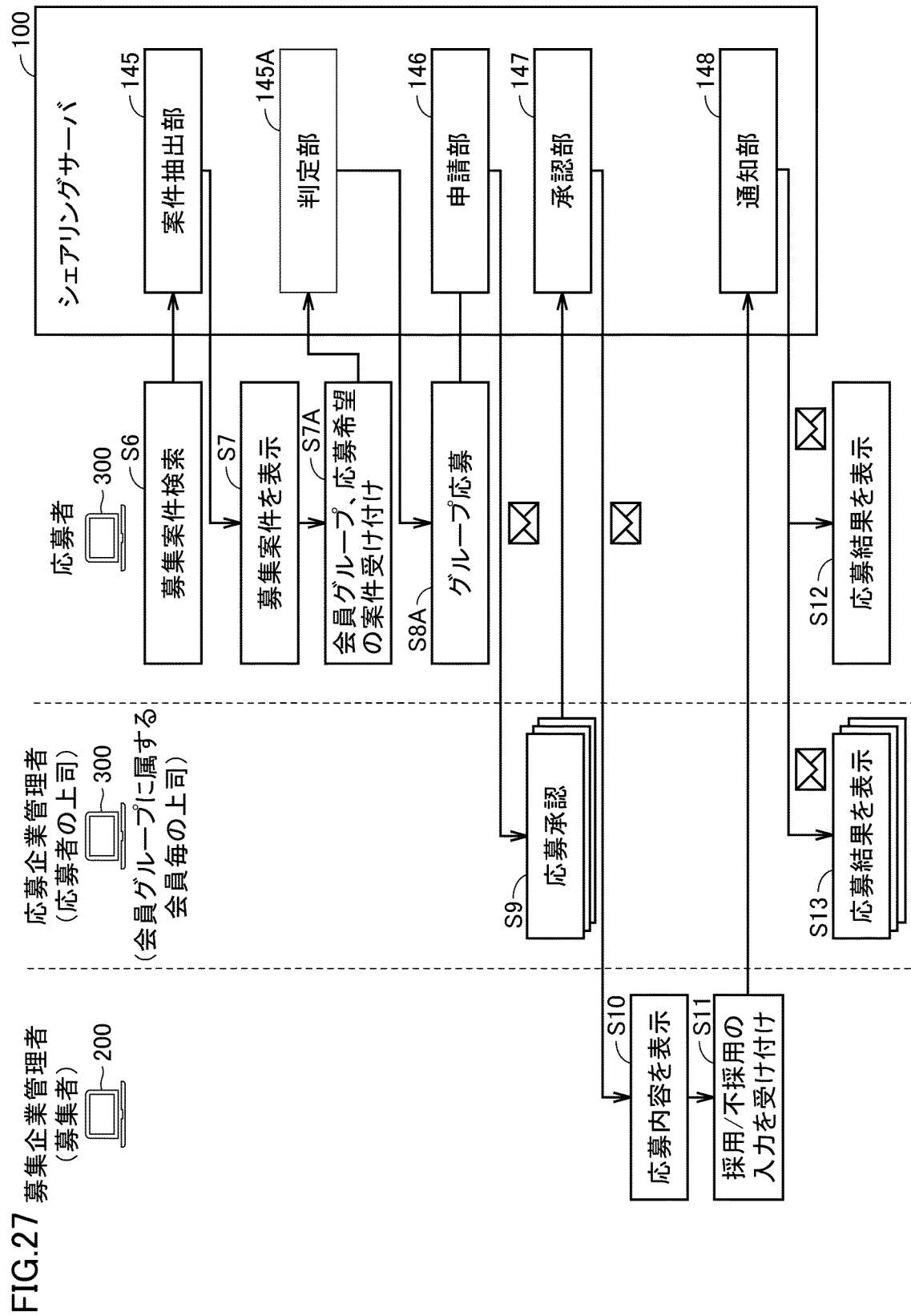
グループID	企業ID	会員ID	...
G1	00A	P1,P2,P5	...
G2	00A,00B	P1,P3	...
G3	00C	P4,P7,P8,P14	...
...	...	...	...

[図26]

FIG.26

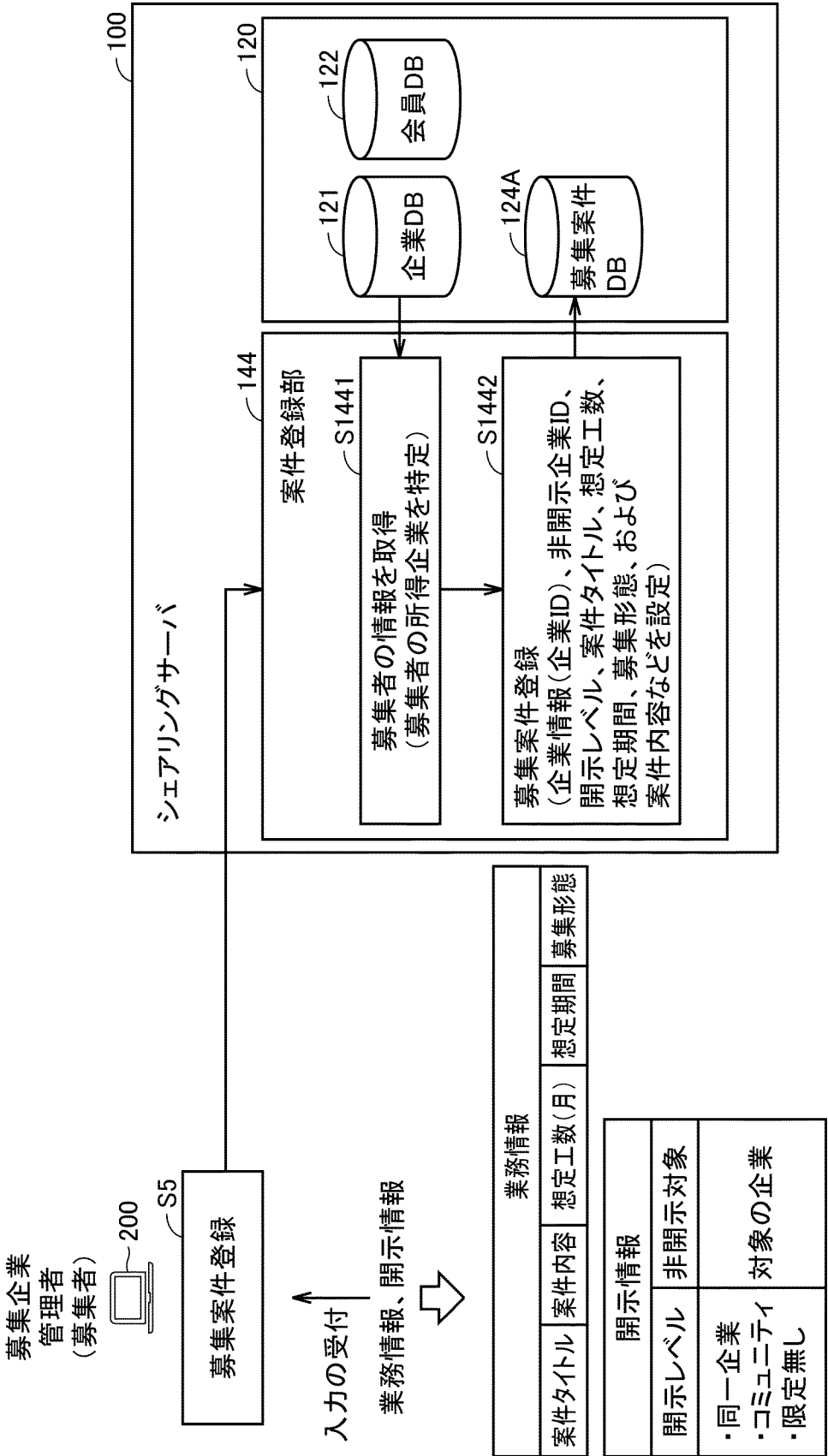
募集案件DB					124A					閲覧可能な企業	
案件ID	登録 企業ID	非開示企業 IDリスト	開示レベル	案件タイトル	想定工数 (人・月)	想定期間	案件内容	募集形態	企業ID		
001	00A		自社	AA案件の企画	5H	2021/10-2021/12	...	グループ	00A		
002	00A		コミュニティ内	BBのプログラミング	10H	2021/11-2022/3	...	個人	00A,00B,00C		
003	00A	00B	コミュニティ内	CCのUIデザイン	20H	2021/10-2021/12	...	限定せず	00A,00C		
004	00B		コミュニティ内	DDのマーケット調査	20H	2021/10-2021/12	...	グループ	00A,00B		
005	00A		すべて	EEのパンフレット送付作業	5H	2021/10-2021/10	...	限定せず	すべて		
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...		

[図27]



[図28]

FIG.28



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2023/000990

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER**G06Q 10/1053**(2023.01)i; **G06Q 10/0639**(2023.01)i

FI: G06Q10/1053; G06Q10/0639

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G06Q10/00-99/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan 1922-1996

Published unexamined utility model applications of Japan 1971-2023

Registered utility model specifications of Japan 1996-2023

Published registered utility model applications of Japan 1994-2023

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 6870175 B1 (NIPPON SHIKO KK) 12 May 2021 (2021-05-12)	1-5, 7-10
A	paragraphs [0029]-[0082]	6
Y	JP 2021-179682 A (DELIGHT DESIGN CO LTD) 18 November 2021 (2021-11-18)	1-5, 7-10
A	paragraphs [0013]-[0018], [0033], [0035], [0040]-[0046]	6
Y	JP 6994545 B1 (OPTIM CORP) 14 January 2022 (2022-01-14)	7
	paragraph [0120]	

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.☒ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

“A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

“E” earlier application or patent but published on or after the international filing date

“L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

“O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

“P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

“T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

“X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

“Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

“&” document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

22 March 2023

Date of mailing of the international search report

04 April 2023

Name and mailing address of the ISA/JP

Japan Patent Office (ISA/JP)

3-4-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915

Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.

PCT/JP2023/000990

Patent document cited in search report			Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)	Publication date (day/month/year)
JP	6870175	B1	12 May 2021	JP 2022-37826 A	
JP	2021-179682	A	18 November 2021	(Family: none)	
JP	6994545	B1	14 January 2022	JP 2022-43506 A	
				WO 2022/049565 A1	

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC）） G06Q 10/1053(2023.01)i; G06Q 10/0639(2023.01)i FI: G06Q10/1053; G06Q10/0639		
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC）） G06Q10/00-99/00 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1922-1996年 日本国公開実用新案公報 1971-2023年 日本国実用新案登録公報 1996-2023年 日本国登録実用新案公報 1994-2023年 国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）		
C. 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y A	JP 6870175 B1（日本紙工株式会社）12.05.2021（2021-05-12） 段落[0029]-[0082]	1-5, 7-10 6
Y A	JP 2021-179682 A（株式会社De l i g h t D e s i g n）18.11.2021（2021-11-18） 段落[0013]-[0018], [0033], [0035], [0040]-[0046]	1-5, 7-10 6
Y	JP 6994545 B1（株式会社オプティム）14.01.2022（2022-01-14） 段落[0120]	7
☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。 ☒ パテントファミリーに関する別紙を参照。		
* 引用文献のカテゴリー “A” 特に関連のある文献ではなく、一般的技术水準を示すもの “E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの “L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す） “O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 “P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献 “T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの “X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの “Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの “&” 同一パテントファミリー文献		
国際調査を完了した日 22. 03. 2023		国際調査報告の発送日 04. 04. 2023
名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 〒100-8915 日本国 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号		権限のある職員（特許庁審査官） 小山 和俊 5L 9369 電話番号 03-3581-1101 内線 3562

国際調査報告
パテントファミリーに関する情報

国際出願番号

PCT/JP2023/000990

引用文献			公表日	パテントファミリー文献			公表日
JP	6870175	B1	12.05.2021	JP	2022-37826	A	
JP	2021-179682	A	18.11.2021	(ファミリーなし)			
JP	6994545	B1	14.01.2022	JP	2022-43506	A	
				WO	2022/049565	A1	